

# 公益社団法人二本松青年会議所

## 第91回1月通常総会 総会資料



5 5 6

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度スローガン

わたしから動き出そう

あなたとみんなの未来のために

## 目 次

- JCI クリード・JCI Mission・JCI Vision ・JC 宣言文・綱領・東北 JC 宣言
- JC ソング・若い我等
- 第 91 回 1 月通常総会次第
- 第 91 回 1 月通常総会提出議案
- ◆ 第 1 号議案（2021 年度決算（案）承認に関する件）
  - 正味財産増減計算書（案） 正味財産計算書内訳表（案）
  - 貸借対照表（案） 財産目録（案）
- 2021 年度会計監査報告
- ◆ 第 2 号議案（その他）
- 報告事項
  - 2021 年度報告
    - 1. 2021 年度理事長報告
    - 2. 2021 年度副理事長報告
    - 3. 2021 年度専務理事報告
    - 4. 2021 年度例会報告
    - 5. 2021 年度総会報告
    - 6. 2021 年度三役会報告
    - 7. 2021 年度理事会報告
    - 8. 2021 年度事務局報告
    - 9. 2021 年度各種褒章
    - 10. 2021 年度会員の異動
    - 11. 2021 年度理事会出席者報告
    - 12. 2021 年度例会・事業出席者報告
    - 13. 2021 年度各委員会報告
    - 14. 2021 年度各出向者報告
    - 15. 2021 年度監事報告
  - 2022 年度計画
    - 1. 2022 年度理事長所信
    - 2. 2022 年度各委員会事業計画及び予算
- その他
  - 1. 2022 年度組織図
  - 2. 2022 年度出向者一覧
  - 3. 歴代理事長及びスローガン

## **The Creed of Junior Chamber International**

We Believe:

That faith in God gives meaning  
and purpose to human life;

That the brotherhood of man  
transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won  
by free men through free enterprise;

That government should be of laws  
rather than of men;

That earth's great treasure lies in  
human personality; and

That service to humanity is the best  
work of life.

## **JCI Mission**

To provide development opportunities  
that empower young people to create  
positive change

## **JCI Vision**

To be the leading global network of  
young active citizens

## **JC 宣言**

日本の青年会議所は希望をもたらす変革の  
起点として輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで持続可能な地  
域を創ることを誓う

## **綱 領**

われわれ JAYCEE は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志  
を同じうする者 相集い 力を合わせ青年と  
しての英知と勇気と情熱をもって明るい豊か  
な社会を築き上げよう

とうほく せんげん  
東北 J C 宣言

われわれは

あら かし そうぞう きしゆ  
新たな価値を創造する旗手として

とうと ゆい せいしん よ さ  
尊い「結」の精神を呼び覚まし

みらい き ひら ちか  
かつてない未来を切り拓くことを誓う

## 君が代

君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

いわお  
巖となりて

こけ  
苔のむすまで

## J C ソング

1 J C J C J C

せかい むす わか ちから  
世界を結ぶ 若き団結

あたら よ のぞみ  
新しき世紀の 希望となりて

とわ さか われら つど  
永遠に繁栄えん 我等の集い

2 J C J C J C

ほうし りそう もと  
奉仕の理想 探求めつつ

くに あゆみ ちから  
祖国の進歩の 力となりて

さきが われら つど  
先駆けゆかん 我等の集い

# 2022年度第91回1月通常総会

## 次 第

日時：2022年1月27日（木）17:00

場所：二本松御苑

司会：総務広報委員会 柚井 勉 君

1. 開会宣言（点鐘）
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCI Creed 唱和
5. JCI Mission 唱和  
並びに JCI Vision 唱和
6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
7. 東北JC宣言唱和
8. スローガン唱和
9. 理事長挨拶 理事長 新野 成輝 君
10. 直前理事長挨拶 直前理事長 岡 藤浩 君
11. 来賓紹介
12. 議長就任（定款第32条により理事長指名）
13. 議事録作成人並びに議事録署名人指名
14. 定数確認
15. 決議事項
  - 第1号議案 2020年度決算（案）承認に関する件
  - 第2号議案 その他
16. 報告事項
17. その他
18. 監事講評
19. 閉会宣言（点鐘）

第1号議案

2021年度 決算（案）

承認に関する件

正味財産増減計算書（案）

2021年 1月 1日より2021年12月31日まで

公益社団法人 二本松青年会議所

理事長 岡 藤浩

（単位：円）

	当年度	前年度	差異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>基本財産運用益</b>	100	193	△ 93
<b>特定資産運用益</b>	0	0	0
<b>受取入会金</b>	20,000	360,000	△ 340,000
新入会員入会金	20,000	10,000	10,000
特別会員入会金	0	350,000	△ 350,000
<b>受取会費</b>	2,582,500	2,580,000	2,500
正会員会費	2,490,000	2,500,000	△ 10,000
新入会員会費	92,500	80,000	12,500
<b>事業収益</b>	3,569,000	2,266,000	1,303,000
登録料収益	114,000	0	114,000
懇親会費収益	0	0	0
広告料収益	3,455,000	0	3,455,000
販売収益	0	2,266,000	△ 2,266,000
雑収益(事業収益)	0	0	0
<b>受取補助金等</b>	836,000	873,240	△ 37,240
地方公共団体等補助金	400,000	0	400,000
OB会補助金	200,000	200,000	0
二本松少年隊顕彰会補助金	236,000	14,000	222,000
二本松市補助金	0	659,240	△ 659,240
<b>受取負担金</b>	256,579	20,000	236,579
受取寄付金	256,579	20,000	236,579
受取募金	0	0	0
<b>雑収益</b>	164,456	14,377	150,079
受取利息収益	57	2	55
雑収益	164,399	14,375	150,024
<b>他会計からの繰入金</b>	0	0	0
特別会計からの繰入金	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>7,428,635</b>	<b>6,113,810</b>	<b>1,314,825</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	4,593,329	3,327,937	1,265,392

会場設営費（事業費）	2,175,961	28,600	2,147,361
企画・演出費（事業費）	1,547,885	2,587,046	△ 1,039,161
本部関係費（事業費）	0	0	0
講師関係費（事業費）	5,000	10,000	△ 5,000
広報費（事業費）	188,540	432,930	△ 244,390
資料作成費（事業費）	458,995	182,980	276,015
報告書作成費（事業費）	0	0	0
懇親会費（事業費）	0	0	0
渉外費（事業費）	64,450	0	64,450
旅費交通費（事業費）	0	0	0
参加記念品費（事業費）	0	0	0
保険料（事業費）	4,000	0	4,000
通信費（事業費）	99,225	23,685	75,540
販売物品仕入（事業費）	0	0	0
雑費（事業費）	49,273	62,696	△ 13,423
<b>管理費</b>	<b>1,788,605</b>	<b>1,759,654</b>	<b>28,951</b>
会議費（管理費）	22,110	38,500	△ 16,390
給料手当（管理費）	0	0	0
福利厚生費（管理費）	0	0	0
旅費交通費（管理費）	0	0	0
通信費（管理費）	274,433	331,248	△ 56,815
減価償却費（管理費）	0	0	0
消耗品費（管理費）	41,272	9,494	31,778
会員支給品費（管理費）	48,740	43,540	5,200
修繕費（管理費）	0	0	0
印刷製本費（管理費）	0	13,500	△ 13,500
水道光熱費（管理費）	58,800	51,200	7,600
貸借料（管理費）	435,600	435,600	0
事務委託料（管理費）	720,430	720,430	0
保険料（管理費）	0	0	0
租税公課（管理費）	600	600	0
渉外費（管理費）	181,480	101,802	79,678
雑費（管理費）	5,140	13,740	△ 8,600
<b>負担金</b>	<b>488,062</b>	<b>538,864</b>	<b>△ 50,802</b>
国際青年会議所負担金支出（負担金）	29,887	33,852	△ 3,965
日本青年会議所負担金支出（負担金）	125,000	135,000	△ 10,000
東北地区協議会負担金支出（負担金）	33,500	36,500	△ 3,000
福島ブロック協議会負担金支出（負担金）	130,000	140,000	△ 10,000
国際協力支援金支出（負担金）	34,675	38,325	△ 3,650

日本青年会議所出向負担金支出（負担金）	40,000	40,000	0
東北地区協議会出向負担金支出（負担金）	0	10,000	△ 10,000
Webelieve購読料支出（負担金）	57,000	63,000	△ 6,000
京都会議LOM登録料支出（負担金）	8,000	8,000	0
朝河貫一顕彰会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
にほんまつ未来創造ネットワーク会費支出（負担金）	0	0	0
全国城下町連合会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
地球市民の会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
新入会員登録負担金	0	4,187	△ 4,187
<b>他会計への繰入金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
特別会計への繰入金	0	0	0
<b>経常費用計</b>	<b>6,869,996</b>	<b>5,626,455</b>	<b>1,243,541</b>
評価損益等調整前当期計上増減額	558,639	487,355	71,284
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>558,639</b>	<b>487,355</b>	<b>71,284</b>
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(3) 他会計振替額	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>558,639</b>	<b>487,355</b>	<b>71,284</b>
一般正味財産期首残高	5,160,868	4,673,513	487,355
一般正味財産期末残高	5,719,507	5,160,868	558,639
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>5,719,507</b>	<b>5,160,868</b>	<b>558,639</b>



貸借対照表（案）

2021年12月31日現在

公益社団法人 二本松青年会議所

理事長 岡 藤浩

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
当座預金	0	0	0
普通預金	5,305,566	6,067,881	△ 762,315
定期預金	0	0	0
仮払金	0	0	0
前払金	14,850	0	14,850
未収入金	416,000	0	
流動資産合計	5,736,416	6,067,881	△ 331,465
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	74,984	74,984	0
出資金（二本松信用金庫）	5,000	5,000	
その他固定資産合計	79,984	79,984	0
固定資産合計	79,984	79,984	0
資産合計	5,816,400	6,147,865	△ 331,465
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	96,893	146,237	△ 49,344
未払金	0	840,760	
流動負債合計	96,893	986,997	△ 890,104
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	96,893	986,997	△ 890,104
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	5,719,507	5,160,868	558,639
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	5,719,507	5,160,868	558,639
負債及び正味財産合計	5,816,400	6,147,865	△ 331,465



# 収支計算書（案）

2021年 1月 1日より2021年12月31日まで

公益社団法人 二本松青年会議所

理事長 岡 藤浩

(単位：円)

	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
基本財産運用収入	0	100	100
特定資産運用収入	0	0	0
受取入会金収入	30,000	20,000	△ 10,000
新入会員入会金収入	30,000	20,000	△ 10,000
特別会員入会金収入	0	0	0
受取会費収入	2,660,000	2,582,500	△ 77,500
正会員会費収入	2,490,000	2,490,000	0
新入会員会費収入	170,000	92,500	△ 77,500
事業収入	3,120,000	3,569,000	449,000
登録料収入	120,000	114,000	△ 6,000
懇親会費収入	0	0	0
広告料収入	3,000,000	3,455,000	455,000
販売収入	0	0	0
雑収入(事業収入)	0	0	0
受取補助金等収入	836,000	836,000	0
地方公共団体等補助金収入	400,000	400,000	0
OB会補助金収入	200,000	200,000	0
二本松少年隊顕彰会補助金収入	236,000	236,000	0
二本松市補助金	0	0	0
受取負担金収入	500,000	256,579	△ 243,421
受取寄付金収入	500,000	256,579	△ 243,421
受取募金収入	0	0	0
雑収入	0	164,456	164,456
受取利息収入	0	57	57
雑収入	0	164,399	164,399
事業活動収入計	7,146,000	7,428,635	282,635
2 事業活動支出			
事業費支出	4,687,100	4,593,329	△ 93,771
会場設営費支出(事業費)	1,343,000	2,175,961	832,961
企画・演出費支出(事業費)	2,058,550	1,547,885	△ 510,665
本部団関係費支出(事業費)	0	0	0
講師関係費支出(事業費)	32,500	5,000	△ 27,500
広報費支出(事業費)	420,000	188,540	△ 231,460
資料作成費支出(事業費)	395,940	458,995	63,055
報告書作成費支出(事業費)	0	0	0

懇親会費支出（事業費）	0	0	0
渉外費支出（事業費）	65,000	64,450	△ 550
旅費交通費支出（事業費）	0	0	0
参加記念品費支出（事業費）	0	0	0
保険料支出（事業費）	5,000	4,000	△ 1,000
通信費支出（事業費）	60,864	99,225	38,361
販売物品仕入支出（事業費）	0	0	0
雑費支出（事業費）	88,650	49,273	△ 39,377
事業予備費（事業費）	217,596	0	△ 217,596
<b>管理費支出</b>	<b>2,168,097</b>	<b>1,788,605</b>	<b>△ 379,492</b>
会議費支出（管理費）	20,100	22,110	2,010
給料手当支出（管理費）	0	0	0
福利厚生費支出（管理費）	0	0	0
旅費交通費支出（管理費）	0	0	0
通信費支出（管理費）	360,000	274,433	△ 85,567
減価償却費支出（管理費）	0	0	0
消耗品費支出（管理費）	150,000	41,272	△ 108,728
会員支給品費支出（管理費）	40,000	48,740	8,740
修繕費支出（管理費）	0	0	0
印刷製本費支出（管理費）	20,000	0	△ 20,000
水道光熱費支出（管理費）	70,000	58,800	△ 11,200
賃借料支出（管理費）	435,600	435,600	0
事務委託料支出（管理費）	720,430	720,430	0
保険料支出（管理費）	0	0	0
租税公課支出（管理費）	5,000	600	△ 4,400
渉外費支出（管理費）	280,000	181,480	△ 98,520
雑費支出（管理費）	7,500	5,140	△ 2,360
管理・運営予備費（管理費）	59,467	0	△ 59,467
<b>負担金支出</b>	<b>488,803</b>	<b>488,062</b>	<b>△ 741</b>
国際青年会議所負担金支出（負担金）	30,628	29,887	△ 741
日本青年会議所負担金支出（負担金）	125,000	125,000	0
東北地区協議会負担金支出（負担金）	33,500	33,500	0
福島ブロック協議会負担金支出（負担金）	130,000	130,000	0
国際協力支援金支出（負担金）	34,675	34,675	0
日本青年会議所出向負担金支出（負担金）	40,000	40,000	0
東北地区協議会出向負担金支出（負担金）	0	0	0
Webelieve購読料支出（負担金）	57,000	57,000	0
京都会議L O M登録料支出（負担金）	8,000	8,000	0
朝河貫一顕彰会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
にほんまつ未来創造ネットワーク会費支出（負担金）	0	0	0
全国城下町連合会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
地球市民の会会費支出（負担金）	10,000	10,000	0
新入会員登録負担金	0	0	0

事業活動支出計	7,344,000	6,869,996	△ 474,004
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 198,000</b>	<b>558,639</b>	<b>756,639</b>
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
<b>投資活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 198,000</b>	<b>558,639</b>	<b>756,639</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>5,160,868</b>	<b>5,160,868</b>	<b>0</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>4,962,868</b>	<b>5,719,507</b>	<b>756,639</b>

## 2021年度 会計監査

諸帳簿・通帳・証票等を綿密に照合結果、いずれも  
適正であることを認めます。

令和4年 1月 13日

公益社団法人二本松青年会議所

監事 渡邊 聡 

外部監事 安齋 淳 

外部監事 野地 哲也 

第2号議案

その他に関する件

2021年度

報告事項

## 2021年度 理事長報告

理事長 岡 藤浩

1 はじめに、本年のスローガン「継承～持続可能な未来へ～」を掲げさせていただきました。  
2 た。これは、J Cと仕事は共通する事が多く二本松青年会議所・家業も継承していく事で、  
3 持続可能な二本松を創造し続ける想いを込め決めさせていただきました。持続可能な二本  
4 松を創っていくために、二本松でのSDG sの推進と、二本松青年会議所の価値を理解し  
5 た上での6名の会員拡大。この2つの柱を中心にJ C運動・活動を展開して参りました。  
6 まずは、二本松でのSDG sの認知度をあげるために、OB会総会に出席した先輩方に  
7 SDG sのバッジを渡すことにより、SDG sへの姿勢を示し、それを見た人がSDG s  
8 を知るきっかけをつくりました。そして、例会や事業などSDG sとの関わりを発信する  
9 ために、案内文にSDG sの番号を記載し、会員に対して意識向上につなげました。さら  
10 に、SDG sを理解する場として、福幸祭でお仕事体験ブースを設置し、体験する事によ  
11 って、二本松市内の方々を中心にSDG sの発信と認知度の向上につなげました。そして、  
12 青年会議所の価値を理解していただくために、会員候補者の方に青年会議所の魅力を伝え  
13 る場を設け、渡辺聡監事に講師を努めていただきセミナーを開催しました。また、コロナ  
14 禍の中でもJ C運動を止めないために、ZOOMでのオンラインとオフラインを併用し、  
15 ハイブリッド会議を行いました。さらに、去年の経験を活かした上で、コロナウイルス感  
16 染症対策をし、子どもたちを中心とした市内外の方々のために、にほんまつDMOとの共  
17 催事業、二本松少年隊頭彰授業、福幸祭を行い、J C運動・活動を展開して参りました。  
18 継承していくには人の力が必要です。次代を担う人財として、入会の決断をしてくれた  
19 4名の仲間に青年会議所の魅力を伝え成長できるよう努めます。また、来年も会員拡大を  
20 行い、地域のために前向きな行動をおこし、持続可能な二本松の創造につなげて参ります。

## 2021年度 副理事長報告

副理事長 新野 成輝

1 私は本年度、副理事長の職をお預かりし、福幸祭特別委員会を担当いたしました。今年  
2 の福幸祭の計画時期は、ちょうど新型コロナウイルス感染症の拡大第3波の真っ只中であ  
3 り、開催の可否が見通せない状態でした。しかし、理事長の意向としてコロナ以前の規模  
4 での準備・計画を、とのことで第4波・第5波が襲うなか、試行錯誤をしながら準備を進  
5 めました。県や市からのアドバイスを受けつつ、県を跨ぐ移動の制限要請なども考慮し、  
6 内容は「二本松少年隊の顕彰」と「SDGsの推進」を2本柱としてステージイベント・  
7 出店・お仕事体験、そして「二本松の四季花火」と共同で花火の打ち上げを行うこととし  
8 ました。その後、9月になって二本松の提灯祭りの中止が決まり、発表の場を失ったこと  
9 もたちのために、福幸祭のステージでのこどもを含めたお囃子の披露を行ってもらおうこと  
10 としました。

11 経済活動の自粛により影響を受けている企業も少なくないなか、今回の福幸祭に対して、  
12 委員会の想定以上に御協賛をいただくことができました。新型コロナが完全に抑え込まれ  
13 たわけではない状況での開催ということで、厳しいご意見もいただきました。しかし、そ  
14 れ以上に開催に期待する声をいただけたのは「福幸祭」の認知度が高まっていることと青  
15 年会議所の運動に対する理解と期待の表れだったと感じています。

16 新型感染症のパンデミックという状況下で事業構築を行い、例年になく入場者管理やコ  
17 ロナ対策も行いつつ、数千人規模の来場者を迎えて無事事業を終えることができたのは、  
18 委員会メンバーはもとよりLOMメンバーと関係者の方々のご協力あってのものとお心から  
19 感謝申し上げます。また、今回の成功は私達が地域を牽引するリーダーとして行動するこ  
20 とができた結果だとも言えると思います。この経験を活かし、来年7月に控えるブロック  
21 大会in二本松と次年度の福幸祭もメンバー全員の力を結集し地域を巻き込んで成功に向  
22 け尽力することをお誓いして、私の今年度の報告といたします。

## 2021年度 副理事長報告

副理事長 國分 崇観千

1 本年度は価値推進委員会の担当副理事長の職を預からせていただきました。昨年に引き  
2 続き新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、事業計画及び実施に大きな影響をもたら  
3 したため、予定していたが実施できなかった事業や本来の形で実施できなかった事業があ  
4 りました。新たな時代の事業構築を模索するべきところでしたが、残念な結果となってし  
5 まいました。

6 そのような状況の中で運動・活動を進めていくため、本年度の2月例会には新型コロナ  
7 ウイルス感染症の状況、また、今後変わっていくであろう世の中を改めて学んでもらうと  
8 いう例会を行いました。5月にはSDGsの推進を企業が目線でとらえる例会、8月には  
9 例年続けてきた家族例会を岳温泉のアクティビティに参加という形で行いました。委員長  
10 を中心に委員会で一体となり役割分担を決めて進めていったため、各例会を成功させるこ  
11 とが出来ました。

12 しかしながら、5月例会を対外向けで開催できなかったこと、また、年初に予定してい  
13 た異業種交流会が開催できなかったことは非常に残念でした。感染拡大と一時収束の繰り返  
14 しが計画に影響したのは間違いありませんが、時代に合わせた開催方法を導き出せな  
15 かったことは大いに反省が必要だと痛感させられる1年間でした。

16 本年度の貴重な経験を、来年に二本松で開催されるブロック大会を主管するLOMのメ  
17 ンバーの一人として、また、二本松の課題解決、更なる発展のために注力していきたいと  
18 思います。最後になりますが本年の委員会メンバー、LOMメンバーに感謝申し上げまし  
19 て2021年度の報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

20

## 2021年度 副理事長報告

副理事長 三津間 勇夫

1 2021年度は青少年育成委員会とブロック大会準備特別委員会の2つの委員会を副理  
2 事長として担当させていただきました。本年は昨年につきコロナウイルスの影響もあった  
3 中で、青少年育成委員会では昨年は白紙になった事業もあり、別の事業も増えて限られた  
4 メンバーでの準備が苦勞しました。ブロック大会準備特別委員会では7月の相馬大会に向  
5 けての準備や今年度中に仕上げなくてはならない物もあり大変忙しい1年になりました。  
6 まずは青少年育成委員会では、「3月例会子どもたちを守るSNSセミナー」「6月例会  
7 感染症対応力向上プロジェクト」「二本松少年隊顕彰授業」「二本松少年隊墓所清掃」「さよ  
8 ならパーティー」を担当させていただきました。2つの例会に関しては、内容も満足いく  
9 ものになったと考えています。3月例会は二本松少年隊顕彰授業へ繋がるものになりまし  
10 たし、6月例会はメンバーの意識向上やブロック大会へと繋がる内容になったことは大変  
11 満足しています。そして二本松少年隊顕彰授業では感染対策を徹底し、メンバーの協力も  
12 あって開催できることができました。市内の全ての小学校から申し込みが来たことは、委  
13 員会、LOMにとって大変光栄なことで、この期待に次年度に応えられるようにしていき  
14 たいと考えます。次にブロック大会準備特別委員会では「ブロック大会PR動画作成」「1  
15 1月例会2022年度福島ブロック大会in二本松の成功への道しるべ」を担当させてい  
16 いただきました。PR動画に関しては年始から準備を進めてきましたが、動画の方向性など  
17 で1歩進んで2歩以上下がる状態で大変苦勞し、臨時理事会まで開催していただき、無事  
18 審議をいただきブロック大会で上映してインパクトを残せたことは、大変うれしく思いま  
19 す。11月例会は2015年度のフォーラムでご尽力された3名の先輩をお呼びしての例  
20 会で、貴重な話を聞いたこと、ブロック大会に向けてメンバーの意識向上に繋がりました。  
21 両委員長がブロック協議会にスタッフとして出向し、予定者段階では厳しいとの意見も  
22 ありましたが、見事1年間やり通していただき、微力ながら私も両委員長のサポートがで  
23 きたと思います。至らぬ点が多々見受けられる副理事長だったと思いますが、メンバーの  
24 皆様に支えていただき、この職を全うできましたが、次年度も副理事長として今年度同様  
25 に委員長を支え、JC運動に邁進していきたいと考えます。

## 2021年度 専務理事報告

専務理事 安齋 秀弥

1 2020年7月15日(水) 11時30分頃、1本の電話が鳴った…  
2 すべてはここから始まります。電話に出ると当時の岡副理事長からでした。理事長選に立  
3 候補するから専務になって！という内容であった。「お昼食べに行こうよ！今日の16時  
4 までに実印押して欲しいんだよね。」「今日！！！！？？？」という電話での会話を今でも  
5 覚えています。待ち合わせが12時だったので11時30分～12時までの、この30分  
6 でどう断ろうかをない頭をフル回転させました。妻にも電話で相談したら、即、電話を切  
7 られました。とりあえず、お腹がすいたので、考えるのをやめました。お店で食事をする  
8 中、なぜ、私なんだという疑問がありながら考えていました。自分が理事長をやるなら専  
9 務は決めていたという言葉を受け、お腹もいっぱいになったので、「わかりました」と返事  
10 をしました。人にはそれぞれ、ドラマがあります。これは、私が専務をやるキッカケとな  
11 った一部です。2021年、専務理事という、LOMを運営する立場となり、感じる事は、  
12 私は、岡理事長の専務で良かったと感じております。専務という立場はとても視野を広く  
13 し、色々な情報を発信し、いらぬような情報も入ってきたりと一年中アンテナをはって  
14 いる状態でしたが、LOMの将来であったり人事であったりを考えさせられた一年でもあ  
15 りました。そしてなにより理事長と行く店行く店が美味しい。。  
16 メンバーの誰かが今後、専務理事をやってほしいと頼まれた際は、ぜひ、やった方がいい  
17 です。ピンチはチャンスです。 以上

## 2021年度例会報告

開催日	担当委員会	場所	内容	出席率
1月21日	総務広報	二本松商工会議所 大研修室	第89回1月通常総会	90.0%
2月18日	価値推進	二本松商工会議所 大研修室	2月例会 「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」	73.91%
3月18日	青少年育成	二本松商工会議所 大研修室	3月例会 「子どもたちを守るSNSセミナー」	73.91%
4月15日	福幸祭特別	二本松商工会議所 大研修室 及びZoom	4月例会 「地域の魅力再認識とスキルアップセミナー」	73.91%
5月20日	価値推進	二本松商工会議所 大研修室 及びZoom	5月例会 「地域の企業が取り組むSDGs」	62.5%
6月17日	青少年育成	二本松商工会議所 大研修室 及びZoom	6月例会 「感染症対応力向上プロジェクト」	70.8%
7月3日 7月4日	総務広報	相馬市民会館 大ホール	7月例会 「第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう」	75.0%
8月01日	価値推進	安達太良高原 リゾート	8月家族例会 「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」	58.33%
9月16日	総務広報	二本松商工会議所 大研修室 及びZoom	第90回9月通常総会	90.0%
10月21日	福幸祭特別	二本松商工会議所 大研修室	10月例会 「第11回福幸祭 ～明るい未来へ～ 総決起例会」	60.0%
11月19日	ブロック大会 準備特別	二本松商工会議所 大研修室 及びZoom	11月例会 「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への道しるべ」	62.5%

12月02日	総務広報	アーバンホテル	12月例会 「2021年度卒業式」	77.0%
--------	------	---------	----------------------	-------

## 2021年度総会報告

### 第89回 1月通常総会

2021年1月21日（木）19：00～ 二本松商工会議所 大研修室

第1号議案 2020年度決算（案）承認に関する件・・・・・・・・満票にて承認

### 第90回 9月通常総会

2021年9月16日（木）18：30～ 二本松商工会議所 大研修室

第1号議案 2022年度理事選任（案）承認に関する件・・・・・・・・満票にて承認

第2号議案 2022年度監事選任（案）承認に関する件・・・・・・・・満票にて承認

## 2021年度三役会報告

2021年 候補者三役会			
開催数	開催日	時間	場所
第1回	10/27	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
2021年 予定者三役会			
第1回	11/24	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第2回	12/01	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
2021年 三役会			
第1回	12/29	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第2回	1/28	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第3回	3/11	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第4回	3/25	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第5回	4/22	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第6回	5/27	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第7回	6/24	20:20	二本松商工会議所青年部研修室
第8回	6/24	20:20	二本松商工会議所青年部研修室
第9回	7/29	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第10回	8/26	19:00	WEB (Zoom)
第11回	9/30	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第12回	10/20	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第13回	10/28	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第14回	11/25	19:00	二本松商工会議所青年部研修室
第15回	12/16	15:00	二本松商工会議所常議員会室

## 2021年度理事会報告

第1回候補者理事会      2020年10月13日（火）      二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	二本松青年会議所 2021年度 理事長、副理事長及び専務理事選任（案）について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	二本松青年会議所 2021年度 役員選任（案）について	専務理事 安齋 秀弥
3号議案	二本松青年会議所 2021年度 委員会設置（案）について	専務理事 安齋 秀弥
4号議案	二本松青年会議所 2021年度 特別委員会設置（案）について	専務理事 安齋 秀弥
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 組織図（案）について	専務理事 安齋 秀弥
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 出向者（案）について	専務理事 安齋 秀弥
7号議案	二本松青年会議所 2021年度 会議構成について	専務理事 安齋 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	二本松青年会議所 2021年度 理事長、副理事長及び専務理事選任（案）について	可決
2号議案	二本松青年会議所 2021年度 役員選任（案）について	可決
3号議案	二本松青年会議所 2021年度 委員会設置（案）について	可決
4号議案	二本松青年会議所 2021年度 特別委員会設置（案）について	可決
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 組織図（案）について	可決
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 会議構成について	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第1回予定者理事会      2020年11月24日（火）      二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
----	------	-----

1号議案	二本松青年会議所 2021年度 予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	二本松青年会議所 2021年度委員長事業計画(案)並びに委員会年間事業フレーム(案)及び委員会年間予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
3号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会議案(案)について	専務理事 安齋 秀弥
4号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会事業計画(案)について	専務理事 安齋 秀弥
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 会員名簿作成事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 出向者(案)について	専務理事 安齋 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	二本松青年会議所 2021年度 出向者(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第2回予定者理事会 2020年12月15日(火) 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	二本松青年会議所 2021年度 予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	二本松青年会議所 2021年度 委員長事業計画(案)並びに委員会年間事業フレーム(案)及び委員会年間予算(案)等について	専務理事 安齋 秀弥
3号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会議案(案)について	専務理事 安齋 秀弥
4号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会事業計画(案)について	専務理事 安齋 秀弥
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 会員名簿作成事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
6号議案	2月例会『ウィズコロナ・安心できる生活を送るには』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
7号議案	二本松青年会議所 2021年度 組織図(案)修正について	専務理事 安齋 秀弥

8号議案	二本松青年会議所 2021年度 災害発生臨時組織図（案） について	専務理事 安齋 秀弥
------	--------------------------------------	---------------

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	二本松青年会議所 2021年度 予算（案）承認の件	可決
2号議案	二本松青年会議所 2021年度 委員長事業計画（案） 並びに委員会年間事業フレーム（案）及び委員会年間予算 （案）承認の件	可決
3号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会議 案（案）承認の件	可決
4号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会事 業計画（案）一部承認の件	可決
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 会員名簿作成事業計画並 びに予算（案）一部承認の件	可決
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 組織図（案）修正承認の 件	可決
7号議案	二本松青年会議所 2021年度 災害発生臨時組織図 （案）承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第1回理事会 2021年1月14日（木） 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	2020年度年次報告並びに決算（案）について	専務理事 安齋秀弥
2号議案	候補者並びに予定者会議審議事項承認（案）について	専務理事 安齋秀弥
3号議案	二本松青年会議所 2021年度第一次修正予算（案）につ いて	専務理事 安齋秀弥
4号議案	2月例会「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」事業 計画（案）について	副理事長 國分崇観千
5号議案	3月例会「子どもたちを守るSNSトラブルセミナー」事業 計画並びに予算（案）について	副理事長 三津間勇夫
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会 事業計画（案）について	専務理事 安齋秀弥

7号議案	二本松青年会議所 2021年度 会員名簿作成事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋秀弥
------	--	--------------

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	2020年度年次報告並びに決算(案)承認の件	可決
2号議案	候補者並びに予定者会議審議事項承認(案)承認の件	可決
3号議案	二本松青年会議所 2021年度第一次修正予算(案)承認の件	可決
4号議案	2月例会「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」事業計画(案)承認の件	可決
5号議案	二本松青年会議所 2021年度 第89回1月通常総会事業計画(案)承認の件	可決
6号議案	二本松青年会議所 2021年度 会員名簿作成事業計画並びに予算(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第2回理事会 2021年2月11日(木) 二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	3月例会「子どもたちを守るSNSトラブルセミナー」事業計画(案)について	副理事長 三津間勇夫
2号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間勇夫
3号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ(仮称)～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野成輝
4号議案	4月例会『地域の魅力発信とスキルアップセミナー』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野成輝
5号議案	「智恵子抄」出版80周年記念事業開催に伴う後援について	専務理事 安齋秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	3月例会「子どもたちを守るSNSトラブルセミナー」事業計画(案)承認の件	可決
2号議案	「智恵子抄」出版80周年記念事業開催に伴う後援 承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第3回理事会 2021年 3月12日(金) WEB会議

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	5月公開例会「地域の企業が取り組むSDGs講演会」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
2号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
3号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度第89回1月通常総会事業報告(案)について	専務理事 安齋 秀弥
4号議案	4月例会『地域の魅力発信とスキルアップセミナー』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに予算(案) 一部承認の件	可決
2号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度第89回1月通常事業報告(案) 承認の件	可決
3号議案	4月例会『地域の魅力発信とスキルアップセミナー』事業計画並びに予算(案) 承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第4回理事会 2021年4月8日(木) 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	5月例会「地域の企業が取り組むSDGs」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
2号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
3号議案	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
4号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度会員名簿作成事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに予算(案) 承認の件	可決

2号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度会員名簿作成事業計画並びに予算(案)承認の件	可決
3号議案	5月例会「地域の企業が取り組むSDGs」事業計画並びに予算(案)一部承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第5回理事会 2021年5月13日(木) 二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	5月公開例会「地域の企業が取り組むSDGs講演会」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
2号議案	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
3号議案	「二本松少年隊墓所清掃」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
4号議案	3月例会「子どもたちを守るSNSセミナー」事業報告(案)について	副理事長 三津間 勇夫
5号議案	7月例会『第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう』事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安斎 秀弥
6号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝
7号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR動画作成事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
8号議案	新入会員入会(案)について 平聖矢君(回覧資料)	専務理事 安斎 秀弥
9号議案	新入会員入会委員会配属(案)について	専務理事 安斎 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	5月公開例会「地域の企業が取り組むSDGs講演会」事業計画並びに予算(案)承認の件	可決
2号議案	3月例会「子どもたちを守るSNSセミナー」事業報告(案)承認の件	可決
3号議案	新入会員入会(案)承認の件 平聖矢君(回覧資料)	可決
4号議案	新入会員入会委員会配属(案)承認の件	可決
5号議案	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」事業計画並びに予算(案)承認の件	可決

6号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算 (案) 一部承認の件	可決
------	---	----

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第6回理事会 2021年6月10日(木) 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	(公社) 二本松青年会議所第二次修正予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	8月家族例会「真夏に家族で楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
3号議案	2月例会「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」事業報告(案)について	副理事長 國分 崇観千
4号議案	「二本松少年隊墓所清掃」事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
5号議案	7月例会『第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう』事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
6号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝
7号議案	4月例会『地域の魅力再認識とスキルアップセミナー』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝
8号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR動画作成事業計画並びに予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
9号議案	二本松青年会議所2021年度 選挙管理委員会設置並びに委員長選任(案)について	専務理事 安齋 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	(公社) 二本松青年会議所第二次修正予算(案)承認の件	可決
2号議案	2月例会「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」事業報告(案)承認の件	可決
3号議案	「二本松少年隊墓所清掃」事業計画並びに予算(案)承認の件	可決
4号議案	7月例会『第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう』事業計画並びに予算(案)承認の件	可決
5号議案	4月例会『地域の魅力再認識とスキルアップセミナー』事業報告並びに決算(案)承認の件	可決

6号議案	二本松青年会議所2021年度 選挙管理委員会設置並びに 委員長選任（案）承認の件	可決
------	---	----

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第7回理事会 2021年6月24日（木） ハイブリッド会議

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算 （案）について	副理事長 新野 成輝
2号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR 動画 作成事業計画並びに予算（案）について	副理事長 三津間 勇夫

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算 （案）一部承認の件	可決
2号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR 動画 作成事業計画並びに予算（案）承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第8回理事会 2021年7月8日（木） 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	8月家族例会「真夏に家族で楽しむアクティビティ。いこー よ、身も心もリフレッシュ例会」事業計画並びに予算（案）に ついて	副理事長 國分 崇観千
2号議案	（公社）二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総 会議案（案）について	専務理事 安斎 秀弥
3号議案	（公社）二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総 会事業計画（案）について	専務理事 安斎 秀弥
4号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算 （案）について	副理事長 新野 成輝

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	8月家族例会「真夏に家族で楽しむアクティビティ。いこー よ、身も心もリフレッシュ例会」事業計画並びに予算（案） 承認の件	可決

2号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算 (案) 一部承認の件	可決
------	---	----

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第9回理事会 2021年8月12日(木) 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	5月例会「地域の企業が取り組むSDGs」事業報告(案)について	副理事長 國分 崇観千
2号議案	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」事業報告並びに決算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
3号議案	7月例会『第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう』事業報告並びに決算(案)について	専務理事 安斎 秀弥
4号議案	(公社) 二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会議案(案)について	専務理事 安斎 秀弥
5号議案	(公社) 二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会事業計画(案)について	専務理事 安斎 秀弥
6号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝
7号議案	新入会員入会(案)について 柚井 勉君(準会員) 回覧資料	専務理事 安斎 秀弥
8号議案	新入会員入会委員会配属(案)について	専務理事 安斎 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	5月例会「地域の企業が取り組むSDGs」事業報告(案)承認の件	可決
2号議案	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」事業報告並びに決算(案)承認の件	可決
3号議案	7月例会『第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加しよう』事業報告並びに決算(案)承認の件	可決
4号議案	(公社) 二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会議案(案)承認の件	可決
5号議案	(公社) 二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会事業計画(案)承認の件	可決
6号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)承認の件	可決

7号議案	新入会員入会（案）承認の件 柚井 勉君（準会員）回覧資料	可決
8号議案	新入会員入会委員会配属（案）承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第10回理事会                      2021年9月9日（木）                      二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	「二本松少年隊墓所清掃」事業報告並びに決算（案）について	副理事長 三津間 勇夫
2号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算（案）について	副理事長 新野 成輝
3号議案	10月例会『第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～ 総決起例会』事業計画（案）について	副理事長 新野 成輝
4号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR動画作成事業報告並びに決算（案）について	副理事長 三津間 勇夫
5号議案	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への一歩」事業計画並びに予算（案）について	副理事長 三津間 勇夫

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	「二本松少年隊墓所清掃」事業報告並びに決算（案）承認の件	可決
2号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算（案）一部承認の件	可決
3号議案	2022年度福島ブロック大会 in 二本松開催の為のPR動画作成事業報告並びに決算（案）承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第11回理事会                      2021年10月14日（木）                      二本松商工会議所大研修室  
議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	(公社)二本松青年会議所 第三次修正予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	二本松市長選挙に伴う立候補予定者公開討論会事業計画並びに予算(案)について	副理事長 國分 崇観千

3号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに補正予算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
4号議案	12月例会「2021年度卒業式」事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安斎 秀弥
5号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝
6号議案	10月例会『第11回 福幸祭～明るい未来へ～ 総決起例会』事業計画(案)について	副理事長 新野 成輝
7号議案	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への一歩」事業計画(案)について	副理事長 三津間 勇夫
8号議案	子どもに贈る音楽会 後援依頼について	専務理事 安斎 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	(公社)二本松青年会議所 第三次修正予算(案)承認の件	可決
2号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業計画並びに補正予算(案)承認の件	可決
3号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)一部承認の件	可決
4号議案	10月例会『第11回 福幸祭～明るい未来へ～ 総決起例会』事業計画(案)承認の件	可決
5号議案	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への一歩」事業計画(案)承認の件	可決
6号議案	子どもに贈る音楽会 後援依頼 承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第12回理事会 2021年10月20日(水) 二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)について	副理事長 新野 成輝

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	『第11回 福幸祭～明るい未来へ～』事業計画並びに予算(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

## 第13回理事会

2021年11月11日(木) 二本松商工会議所大研修室

## 議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	8月家族例会「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」事業計画並びに補正予算(案)について	副理事長 國分 崇観千
2号議案	8月家族例会「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」事業報告並びに決算(案)について	副理事長 國分 崇観千
3号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業報告並びに決算(案)について	副理事長 三津間 勇夫
4号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会事業報告(案)について	専務理事 安齋 秀弥
5号議案	12月例会「2021年度卒業式」事業計画並びに予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	8月家族例会「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」事業計画並びに補正予算(案)承認の件	可決
2号議案	8月家族例会「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」事業報告並びに決算(案)承認の件	可決
3号議案	二本松少年隊顕彰事業「二本松少年隊顕彰授業～座学から学ぶ命の大切さ～」事業報告並びに決算(案)承認の件	可決
4号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度第90回9月通常総会事業報告(案)承認の件	可決
5号議案	12月例会「2021年度卒業式」事業計画並びに予算(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

## 第14回理事会

2021年12月9日(木) 二本松商工会議所大研修室

## 議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度 第4次修正予算(案)について	専務理事 安齋 秀弥
2号議案	10月例会「第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～ 総決起例会」事業報告(案)について	副理事長 新野 成輝

3号議案	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への道しるべ」事業報告(案)について	副理事長 三津間 勇夫
------	--	----------------

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度 第4次修正予算(案)承認の件	可決
2号議案	10月例会「第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～ 総決起例会」事業報告(案)承認の件	可決
3号議案	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への道しるべ」事業報告(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

第15回理事会                      2021年12月9日(木)                      二本松商工会議所大研修室

議案状況

番号	協議事項	上程者
1号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度 第5次修正予算(案)について	専務理事 安斎 秀弥
2号議案	12月例会「卒業式」事業報告並びに決算(案)について	専務理事 安斎 秀弥
3号議案	『第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～』事業報告並びに補正予算(案)について	副理事長 新野 成輝
4号議案	『第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～』事業報告並びに決算(案)について	副理事長 新野 成輝
5号議案	公益社団法人二本松青年会議所2022年度予定者会議 審議事項(案)について	専務理事 安斎 秀弥

番号	審議事項	可・否・継続
1号議案	公益社団法人二本松青年会議所2021年度 第5次修正予算(案)承認の件	可決
2号議案	12月例会「卒業式」事業報告並びに決算(案)について	可決
3号議案	『第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～』事業報告並びに補正予算(案)承認の件	可決
4号議案	『第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～』事業報告並びに決算(案)承認の件	可決
5号議案	公益社団法人二本松青年会議所2022年度予定者会議 審議事項(案)承認の件	可決

※ 人事案件については、拍手多数にて承認という形で可決しております。

## 2021年度 事務局報告

日 時		名 称	場 所	出席者
1月				
14日	19:00	第1回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
22～ 24日		京都会議	WEB開催	理事長他 会員
21日	19:00	公益社団法人二本松青年会議所 2021年度第89回1月通常総会 公益社団法人二本松青年会議所	二本松商工会議所 大研修室 及びZ o o m	会員
28日	19:00	第2回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
2月				
6日	13:00	福島ブロック協議会 新春の集い	動画配信	会員
11日	19:00	第2回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
18日	19:00	2月例会「ウィズコロナ・安心できる生活を送るには」	二本松商工会議所 大研修室	会員
24日	19:00	第3回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
3月				
11日	18:00	にほんまつ空飛ぶランタンフェスティバル	二本松城跡 天守台	会員
12日	19:00	第3回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
18日	19:00	3月例会「子どもたちを守るSNSセミナー」	二本松商工会議所 大研修室	会員
25日	19:00	第4回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
30日	19:00	公開討論会コーディネーター養成講座	Z o o m	会員
4月				
8日	19:00	第4回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
15日	19:00	4月例会「地域の魅力再認識とスキ	二本松商工会議所	会員

		ルアップセミナー」	大研修室	
22日	19:00	第5回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
24日	08:00	しゃくなげカップ2021	ヘレナ国際カントリー 倶楽部	会員
5月				
8日	14:30	会員会議所会議オブザーブ	二本松商工会議所 大研修室	会員
9日	15:00	会員会議所会議オブザーブ	アーバンホテル	会員
13日	19:00	第5回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
20日	19:00	5月例会「地域の企業が取り組むSDGs」	WEB開催	会員
27日	19:00	第6回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
6月				
10日	19:00	第6回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
17日	19:00	6月例会「感染症対応力向上プロジェクト」	二本松商工会議所 大研修室	会員
20日	07:45	「JCカップU-11少年少女サッカー全国大会福島予選会場」	Jヴィレッジ	会員
24日	19:00	第7回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
24日	20:00	第7回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
26	08:00	「バチコイ!2021 JC野球大会福島県予選」	鶴ヶ城公園第二球場	会員
7月				
3日 4日	10:00	第51回福島ブロック大会 in 相馬	相馬市民会館	会員
7日	12:30	「2021年度本宮高等学校模擬面接会」	県立本宮高等学校	会員
8日	19:00	第8回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
11日	10:00	二本松市街頭献血キャンペーン	ベイシア 安達店	会員
19日	5:00	二本松少年隊墓所清掃	大隣寺 他	会員
29日	19:30	第9回三役会	二本松商工会議所	三役役員

			青年部研修室	
8月				
1日	09:00	8月家族例会「真夏に楽しむアクティビティ。いこーよ、身も心もリフレッシュ例会」	安達太良高原リゾート	会員
12日	19:00	第9回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
26日	19:00	第10回三役会	WEB参加	三役役員
9月				
4日 5日		2021年度東北青年フォーラム in 郡山 未来を切り拓け！～開拓者精神で共に奏でよう！東北六重奏～	WEB参加	会員
9日	19:00	第10回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
16日	19:00	二本松青年会議所 第90回9月通常総会	二本松商工会議所 大研修室	会員
30日	19:00	第11回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
10月				
14日	19:00	第11回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
20日	18:30	第12回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
20日	19:00	第12回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
21日	19:00	10月例会「第11回福幸祭 ～明るい未来へ～ 総決起例会」	二本松商工会議所 大研修室	会員
28日	19:00	第13回三役会	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
11月				
6日	11:00	「第11回福幸祭 ～明るい未来へ～」	安達ヶ原ふるさと村	会員
11日	19:00	第13回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
12日	19:00	OB会主催交流会	二本松御苑	会員
18日	19:00	11月例会「2022年度福島ブロック大会 in 二本松の成功への道しるべ」	二本松商工会議所 大研修室	会員

25日	19:00	第14回三役回	二本松商工会議所 青年部研修室	三役役員
27日	13:00	「明日へ向かって!!第4回アカデ ミー委員会」	エルティ ウェディ ング・パーティ エ ンポリウム	会員
28日	15:00	公益財団法人日本青年会議所 東北 地区 福島ブロック協議会2021 年度 「事業報告会・卒業式・大懇親会」	エルティ ウェディ ング・パーティ エ ンポリウム	会員
12月				
3日	18:00	12月例会「2021年度卒業式」	アーバンホテル	会員
9日	19:00	第14回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員
16日	15:00	第15回三役会	二本松商工会議所 大研修室	三役役員
16日	16:00	第15回理事会	二本松商工会議所 大研修室	役員

## 2021年度 各種褒賞

最優秀出向者賞

福島ブロック協議会  
アカデミー委員会委員

神野 朗宏 君  
橋本 聡矢 君

最優秀委員会賞

総務広報委員会

最優秀会員賞

専務理事

安齋 秀弥 君

## 2021年度 会員異動

2021年度1月1日現在 正会員数20名 準会員3名

新入会員（正会員）

5月入会 平 聖矢 君

新入会員（準会員）

8月入会 柚井 勉 君

卒業者

佐藤 健太 君

渡邊 聡 君

桑田 剛 君

退会者

なし

2022年度1月1日現在 正会員数22名 準会員数2名

2021年度 理事会出席者

回			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	17	
月 日			10/27	11/24	12/15	1/14	2/11	3/12	4/6	5/13	6/10	6/24	7/8	8/12	9/9	10/14	10/20	11/11	12/9	12/16	
数	役 職	名	候	予	予	普	普	普	普	普	普	臨	普	普	普	普	臨	普	普	普	率
1	理事長	岡 藤浩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
2	直前理事長	佐藤 健太	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
3	副理事長	國分 崇観千	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
4	副理事長	新野 成輝	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
5	副理事長	三津間 勇夫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
6	専務理事	安斎 秀弥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
7	価値推進委員長	加藤 大史	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	76.5%
8	青少年育成委員長	橋本 篤	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	88.2%
9	総務広報委員長	鈴木 健弘	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	76.5%
10	理事兼事務局長	松本 健二	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
11	理事兼財政局長	川村 祐一朗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
12	理事兼事務局次長	桑原 実寛	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
13	監事	渡邊 聡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
14	外部監事	安齋 淳	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	29.4%
15	外部監事	野地 哲也	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	58.8%
sx		出席者合計	15	11	13	15	12	14	14	13	13	14	14	11	12	15	12	14	14	15	
		出席率	93.8%	68.8%	81.3%	93.8%	75.0%	87.5%	87.5%	81.3%	81.3%	87.5%	87.5%	68.8%	75.0%	93.8%	75.0%	87.5%	87.5%	93.8%	

2021年度 総会・例会・事業出席者

回		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
月 日		1/21	2/18	3/18	4/15	5/20	6/17	7/3	7/4	7/19	8/1	9/16	10/21	11/18	12/2	
数	名	総会	例会	墓所清掃	例会	総会	例会	例会	例会	出席率						
1	安斎 秀弥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
2	大沼 伸太朗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
3	岡 藤浩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
4	加藤 大史	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	92.9%
5	神野 朗宏	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	85.7%
6	川村 祐一朗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	92.9%
7	桑原 実寛	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
8	國分 崇観千	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
9	佐藤 健太	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
10	新野 成輝	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
11	鈴木 健弘	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	78.6%
12	平 聖矢						0	1	1	0	1	1	0	0	0	28.6%
13	武田 良典	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
14	橋本 篤	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	78.6%
15	橋本 聡矢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	78.6%
16	深谷 勇人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
17	本多 有	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	64.3%
18	松本 健二	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
19	三津間 勇夫	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	92.9%
20	武藤 雄司	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
21	渡邊 聡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0%
22	桑田 剛 (準)	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	28.6%
23	関 那央幸 (準)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
24	富田 哲 (準)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7.1%
25	柚井 勉 (準)												1	1	1	21.4%
36																0.0%
	会員数	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	25	25	25	25	
	内準会員数	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	出席者合計	16	17	17	17	14	17	17	18	18	14	17	15	15	19	
	出席率	69.6%	73.9%	73.9%	73.9%	60.9%	70.8%	70.8%	75.0%	75.0%	58.3%	68.0%	60.0%	60.0%	76.0%	

# 2021年度 選挙管理委員会 事業報告

委員長 鈴木 健弘

1 2022年度は二本松の地にて、福島ブロック大会が開催されます。そんな大事な1年  
2 となる次年度に向けて、私は選挙管理委員会委員長の役職をお預かりしました。私自身、  
3 初めての選挙管理委員長でしたので、わからないことは安齋専務に助けをもらいながらと  
4 なりましたが、新たな門出を迎える、理事長をはじめとする、スタッフを決める選挙に携  
5 われたことを誠に光栄に思います。

6 理事長選挙の際は「我こそが理事長に」と、立候補者多数でドロドロの蹴落としあい、  
7 熱いアピール合戦になることを期待しましたが、新野成輝君一人の立候補となりました。  
8 少々残念ではありましたが、私自身、新野君を手本としていることから、来年もよい年  
9 になりそうだと確信いたしました。同じく直選理事の投票となりましたが、まず残念で仕方  
10 がないのが、投票率の低さです。これは、日本の選挙でもいえることですが、組織を運営  
11 していく中で、長や代表者を決めることに参加しないということがどれだけ恐ろしいこと  
12 か、政治参画運動も展開している団体として恥ずかしいなと感じました。私の公表の仕方  
13 に問題があるのかもしれませんが、それ以前に、「我こそは!」「あの人なら任せたい」と  
14 いうような熱いものを見せてほしかったなと思います。結果としては、歴の浅いメンバー  
15 が理事として多く選ばれました。選ばれたからには誠意を持って頑張っていたいただきたいと  
16 思います。次年度に向け、新たなスタッフと共に「自分から動き出す」二本松青年会議所  
17 を作り上げていきましょう。

18

19 委員会開催報告

20

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
1	6月17日	18:30	事務局	委員会内での役割確認
2	7月14日	19:00	事務局	開票日の集合計画
3	7月20日	19:00	事務局	直選理事開票

21

22

23 2021年度委員会決算書

# 2021年度 価値推進委員会 事業報告

委員長 加藤 大史

1 本年、価値推進委員会では、3つの例会を開催させていただきました。

2 まず、2月例会では、新型コロナウイルス感染症について学ぶ例会を行いました。年度  
3 始まっての最初の例会ではありましたが、いまだ終息が見えない状況の中で、オンライン  
4 例会という形で開催しました。ウィズコロナの中、安心して生活していくための二本松青  
5 年会議所内の知識共有と、新たな仕事に生まれたワークスタイルなどを学ぶ例会となりま  
6 した。

7 5月例会では、会員のそれぞれの企業で、SDGsを取り組んでいくための例会を行  
8 いました。二本松青年会議所は、SDGsを推進している団体です。しかし、個人で考えた  
9 ときには、それぞれが、それぞれの生活、そして、事業所の中で取り組んでいくことが重  
10 要だと考え開催させていただきました。開催後に、数件の事業所において、取り組みをホ  
11 ームページで宣言していただくことができ、SDGsの取り組みを推進することができま  
12 した。

13 8月例会では、例年の家族例会として、あだたらアクティビティの体験を行う例会を行  
14 いました。2022年度は、二本松青年会議所が、ブロック大会を主管します。そして、  
15 開催エリアとなる岳温泉、安達太良エリアの魅力を体感し、来年のブロック大会に活かそ  
16 うということで開催しました。参加家族、メンバーから、初めての体験で魅力的な体験を  
17 できたと感想をいただき、来年、多くの青年会議所同志を二本松に招くに至って、魅力の  
18 発信に繋がる例会となりました。

19 本年は、以上の事業を開催させていただきましたが、本来であれば、価値推進委員会と  
20 して、地域社会のために、二本松青年会議所の運動を展開していかなければならないはず  
21 でした。コロナ禍で、広く多くの方に参加していただけるような効果的な手法が思い浮か  
22 ばず、その機会を無くしてしまったことを反省すべきところを感じております。

23 青年会議所の運動を絶やさないように、私自身、継続事業に驕ることなく、価値の創出  
24 を絶え間なくできる人材として成長していきたいと思っております。本年は、ありがとうございました。  
25

## 26 委員会開催報告

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
1	10月24日	19:30	事務局	年間スケジュール作成
2	12月11日	19:30	事務局	年間スケジュール作成

3	2月15日	19:30	事務局	2月例会について
4	2月17日	19:30	事務局	2月例会リハ
5	2月26日	19:30	事務局	5月例会について
6	3月31日	19:30	事務局	5月例会について
7	4月14日	19:30	事務局	5月例会について
8	4月28日	19:30	事務局	5月例会について
9	5月18日	19:30	事務局	5月例会、8月例会につい て
10	5月19日	19:30	事務局	5月例会リハ
11	6月3日	19:30	事務局	8月例会について
12	7月30日	19:30	事務局	8月例会について
13	9月22日	19:30	事務局	8月例会報告

29

30

31 2021年度委員会決算書

事業名 科目名	その他の事業	
	1	小計
	8月家族例会	
④事業収益	30,000	30,000
事業繰入収益	30,000	30,000
登録料収益	0	0
懇親会費収益	0	0
広告料収益	0	0
販売収益	0	0
預り金収益	0	0
雑収益	0	0
⑤受取補助金等	0	0
国庫補助金	0	0
地方公共団体補助金	0	0
県サポート事業補助金	0	0
OB会補助金	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0
国庫助成金	0	0
地方公共団体助成金	0	0
民間助成金	0	0
⑥受取負担金	0	0
受取負担金	0	0
⑦受取寄付金	0	0
受取寄付金	0	0
受取募金	0	0
⑧雑収益	0	0
受取利息収益	0	0
その他雑収益	0	0
經常収益計	30,000	30,000
(2) 經常費用		
①事業費	5,550	5,550
事業費	5,550	5,550
事業費繰入金		0
会場設営費	0	0
企画・演出費	5,000	5,000
本部団設営費	0	0
講師関係費	0	0
広報費	0	0
資料作成費	0	0
報告書作成費	0	0
懇親会費	0	0
渉外費	0	0
旅費交通費	0	0
参加記念品代	0	0
保険料	0	0
通信費	550	550
販売物品仕入	0	0
預り金	0	0
雑費	0	0
委員会運営費	0	0
事業予備費	0	0
収支差額	24,450	24,450

## 2021年度 青少年育成委員会 事業報告

委員長 橋本 篤

1 青少年育成委員会の委員長をさせていただきました。当委員会では3月例会、二本松少  
2 年隊顕彰授業、6月例会、二本松少年隊墓所清掃を実施させていただきました。JCとして  
3 地域の子供達とどう向き合えば地域の為になるのか考えた1年間でした。

4 3月例会は自分たちが講師を務めました。例会で講師に立つ事は初めてでしたが、講師  
5 をするとまず自分に落とし込むため知識がより深まりました。また、みんなにどうしたら  
6 興味を持って聞いてもらえるかなど考えたりしプレゼン能力の向上のきっかけになりました。  
7 例会内容ですが、色々な質問を例会参加者に聞く事で答えられるようにしっかり聞いて  
8 てもらえました。「質問をする」というのは効果的だと考えます。

9 二本松少年隊顕彰授業では、二本松市内にも新型コロナウイルスの感染者が出る中、市  
10 内全ての学校に参加していただき二本松顕彰授業が出来た事は良かったと考えます。今回、  
11 授業を行った生徒の中に親の仕事の都合で全国を転々としている子供がいました。私たち  
12 が子供たちに教えている授業の内容に「自分が生まれ育ったところが故郷」という言葉が  
13 使われていますが。本当にそうなのかな?と「ふるさと」について考えさせられました。  
14 だれ一人取り残さないふるさとについての概念を創りたいと考えます。

15 6月例会では新型コロナウイルスの感染対策を学び今後の青少年育成事業や福幸祭に役  
16 立てる等の目的のために平学様をお招きして講師が行っている感染対策と事業についてお  
17 話していただきました。アンケート結果からも充実した内容で今後の事業を実施する上で  
18 参考になったと考えます。私個人としては平さんの自分の事業に対する熱い想いが印象に  
19 受けました。その中で「全てのことに失敗はない」の言葉が胸に残りました。私達、青年  
20 会議所はこれからも青少年をはじめ地域の人達と関わり、たくさんの事業をしていきます。  
21 平さんの用に志を高く一人一人が情熱を持って事業に取り組めれば今後の二本松青年会議  
22 所が変わるのではないかと考えます。このタイミングでこの例会を実施出来たことは大変  
23 良かったと考えます。

24 本年の墓所清掃は昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響があるなか、事業が実施  
25 出来るのか無事に実施出来た。また多くのメンバーに参加してもらい、スケジュール通り  
26 終えることができました。この度の墓所清掃を通して、新会員にも二本松青年会議所の運  
27 動を知ってもらいメンバーの気持ちが一つにとなったと考えます。

28 青少年育成委員会は子供達の育成を担う委員会でしたが、私も1年を通して成長させて  
29 もらえたと考えます。貴重な機会をいただきありがとうございました。

30

31 委員会開催報告

32

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
1	1月19日	19:00～ 21:00	市内某所	3月例会について 二本松少年隊顕彰授業引継ぎ
2	2月16日	19:00～ 21:00	Web	3月例会について 二本松少年隊顕彰授業引継ぎ等 6月例会について
3	3月16日	19:00～ 21:00	事務局	3月例会準備
4	5月11日	19:00～ 21:00	事務局	顕彰授業準備 上程議案打ち合わせ 墓所清掃
5	5月24日	19:00～ 21:00	事務局	顕彰授業準備 墓所清掃
6	6月16日	19:00～ 21:00	事務局	6例会準備
7	10月04日	19:00～ 21:00	事務局	さよならパーティー
8	10月13日	19:00～ 21:00	委員長の 家	さよならパーティー 二本松少年隊顕彰授業報告
9	12月19日	9:00～ 14:00	事務局	事業ファイルのファイリング

33

34 [2021年度委員会決算書](#)

## (公社) 二本松青年会議所 2021年度青少年育成委員会決算書 内訳表

事業名 科目名	公益事業			その他の事業	
	1	2	小計	1	小計
	二本松少年 隊顕彰授業	二本松少年 隊墓所清掃		6月例会感 染症対応力 向上プロ ジェクト	
④事業収益	1,000	50	1,050	6,434	6,434
事業繰入収益	1,000	50	1,050	6,434	6,434
登録料収益			0		0
懇親会費収益			0		0
広告料収益			0		0
販売収益			0		0
預り金収益			0		0
雑収益			0		0
⑤受取補助金等	53,410	13,000	66,410	0	0
国庫補助金			0		0
地方公共団体補助金			0		0
県サポート事業補助金			0		0
OB会補助金			0		0
二本松少年隊顕彰会補助金	53,410	13,000	66,410	0	0
補助金等交付業務受託金			0		0
国庫助成金			0		0
地方公共団体助成金			0		0
民間助成金			0		0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金			0		0
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金			0		0
受取募金			0		0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益			0		0
その他雑収益			0		0
經常収益計	54,410	13,050	67,460	6,434	6,434
(2) 經常費用					
①事業費	54,410	13,050	67,460	6,434	6,434
事業費	54,410	13,050	67,460	6,434	6,434
事業費繰入金			0		0
会場設営費			0		0
企画・演出費	36,920	12,500	49,420	3,300	3,300
本部団設営費			0		0
講師関係費			0	2,500	2,500
広報費			0		0
資料作成費	16,060		16,060		0
報告書作成費			0		0
懇親会費			0		0
渉外費			0		0
旅費交通費			0		0
参加記念品代			0		0
保険料			0		0
通信費	1,430		1,430	634	634
販売物品仕入			0		0
預り金			0		0
雑費		550	550		0
委員会運営費			0		0
事業予備費			0		0
収支差額	0	0	0	0	0

# 2021年度 総務広報委員会 事業報告

委員長 鈴木 健弘

1 二本松青年会議所に入会し、2年目の今年に訳が分からないまま直選理事になり、安齋  
2 専務から「総務委員長ね。」と言われました。正直最初は断りたい一心でした。新型コロナ  
3 ウイルスの影響もあり、1月通常総会はZ o o mを併用した、ハイブリッド形式での開催  
4 となりました。やる気がなかったのか横断幕を忘れるなど、多くのミスを犯しました。そ  
5 の際、岡理事長と安齋専務からは叱るでもなく「今回の失敗に気づけたことが成長、次は  
6 挽回しよう」という言葉をいただきました。この時、私の気持ちが変わったことを覚えて  
7 います。同時に2021年度の会員名簿を作成しました。SDGsを推奨する団体として、  
8 データ化して配る事で、例年と違った取り組みをしました。また、12月例会の卒業式で  
9 は卒業生を笑って送り出したいという思いから、笑いが起きる卒業式を企画し、卒業生紹  
10 介動画を作成しました。企画に1か月、撮影に1か月を要し、超大作に仕上げることがで  
11 きました。裏方職が多い総務委員会なはずでしたが、思いっきり前線に出ていき、事業系  
12 のような総務委員会だったなと思います。

13 この1年初めての理事で戸惑うこともありましたが、最後には、最優秀委員会賞をいた  
14 だくことが出来ました。私一人では何もできませんでしたが、安齋専務はじめ、委員会メ  
15 ンバーの支えあつてのことだと思っております。委員会を開催すれば、出席率が80%は  
16 当たり前、100%も記録しました。最後の卒業式でも、委員会メンバーは全員出席する  
17 ことができ、個人的には大成功だったなと思います。

18 嫌で仕方がなかった、理事会及び委員長職をいつの間にか楽しんでいる自分がいました。  
19 持っているつもりでいた責任感も本物になったのかなと思います。今後は次代へ繋いでい  
20 く人間として、活躍していきたいと思えます。

21

22 委員会開催報告

23

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
1	10月28日	19:00	事務局	委員会内での役割確認
2	11月18日	19:10	事務局	議案精査・計画
3	12月23日	19:00	事務局	会員名簿確認
4	1月7日	19:00	事務局	会員名簿精査
5	1月16日	19:00	事務局	総会リハーサル
6	2月5日	19:00	事務局	報告議案の引継ぎ事項確認
7	4月14日	19:30	事務局	7月例会の計画
8	5月19日	19:30	事務局	7月例会の精査

9	6月14日	19:00	事務局	7月例会の段取り確認
10	8月24日	19:00	事務局	卒業式の内容確認
11	9月6日	19:00	Zoom	9月総会の確認
12	9月13日	19:00	事務局	9月総会の事前準備
13	9月16日	19:00	大研修室	9月総会リハーサル
14	11月19日	19:00	事務局	事業ファイル作成

24

25

26 [2021年度委員会決算書](#)

事業名 科目名	その他の事業			小計
	1 会員名簿	2 7月例会 ブロック大会 に参加しよう!	3 12月例会 卒業式	
④事業収益	3,000	140,000	55,000	198,000
事業繰入収益	3,000	20,000	55,000	78,000
登録料収益		120,000		120,000
懇親会費収益				0
広告料収益				0
販売収益				0
預り金収益				0
雑収益				0
⑤受取補助金等	50,000	25,000	0	75,000
国庫補助金				0
地方公共団体補助金				0
県サポート事業補助金				0
OB会補助金	50,000	25,000		75,000
二本松少年隊顕彰会補助金				0
補助金等交付業務受託金				0
国庫助成金				0
地方公共団体助成金				0
民間助成金				0
⑥受取負担金	0	0	0	0
受取負担金				0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金				0
受取募金				0
⑧雑収益	0	0	0	0
受取利息収益				0
その他雑収益				0
經常収益計	53,000	165,000	55,000	273,000
(2) 經常費用				
①事業費	53,000	165,000	55,000	273,000
事業費	52,800	161,430	53,034	267,264
事業費繰入金				0
会場設営費			35,000	35,000
企画・演出費		160,000	15,000	175,000
本部団設営費				0
講師関係費				0
広報費				0
資料作成費	51,700			51,700
報告書作成費				0
懇親会費				0
渉外費				0
旅費交通費				0
参加記念品代				0
保険料				0
通信費			504	504
販売物品仕入				0
預り金				0
雑費	1,100	1,430	2,530	5,060
委員会運営費				0
事業予備費	200	3,570	1,966	5,736
収支差額	0	0	0	0

## 2021年度 福幸祭特別委員会 事業報告

委員長 桑原 実寛

1 二本松青年会議所の看板事業だと思っています福幸祭の担当委員長を拝命し、今年度委  
2 員長をさせていただきました。私自身福幸祭担当委員長をやるのは敬遠しておりました。  
3 二本松少年隊の顕彰と各学校等の披露できる場そして、二本松で行う花火大会として素晴  
4 らしい事業だと思います。そんな委員長は負担がかかる・夜中まで委員会をしている、そ  
5 んなイメージでした。本年度は委員会メンバーで担当をつけて割り振りをさせていただき、  
6 各々の負担を減らすようにと思ってやっておりました。やはりこれだけの事業になると事  
7 前の準備が大変だと感じました、これらの問題は毎年のことと思いますが、同じことの繰  
8 り返しではなくどうやりやすくするか、どう変えていくかが大事かと思っています。コロナ渦  
9 である新しい様式で迎える福幸祭は不安しかありませんでした。しかし理事長はできる、  
10 やればどうにかなるという言葉で何度か気が楽になったと記憶しております。そんな福幸  
11 祭当日を迎え、やってみれば大きな問題もなく、終了後2週間来場者管理をしてもコロナ  
12 ウイルス感染の連絡はありませんでした。ただ大きな問題ではないですが、やはりこれだ  
13 けの事業ですのでいくつか問題はありました。これらの問題は次年度へ引継ぎとしてまた  
14 ブラッシュアップ、よりよい事業を開催していただければ幸いです。短いですが、  
15 最後に私はダメな委員長でした、こうやって12月を迎え、この委員会報告を書いていま  
16 す。そんな委員長の私でもできたので誰でもできます。ただ委員会・LOMメンバーの協  
17 力は不可欠でした。ご協力いただきました皆様に感謝し、委員会報告とさせていただきます  
18 す。

19

20

21 委員会開催報告：

22

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
1	1月18日(月)	19:00	ZOOM	福幸祭について
2	3月19日(金)	19:00	ZOOM	福幸祭について
3	4月14日(金)	19:00	大研修室	4月例会準備リハ
4	4月30日(金)	20:30	大研修室	福幸祭について
5	5月25日(火)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
6	6月4日(金)	19:30	青年部研修室	福幸祭について

7	7月14日(水)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
8	8月5日(木)	19:40	青年部研修室	福幸祭について
9	8月16日(木)	19:40	青年部研修室	福幸祭について
10	8月30日(月)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
11	8月31日(火)	20:30	大研修室	福幸祭 協賛金について
12	9月8日(火)	18:00	よろずや	福幸祭 募金玉作成
13	9月13日(月)	19:30	大研修室	福幸祭について
14	9月17日(金)	19:30	大研修室	福幸祭 協賛金について
15	9月20日(月)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
16	10月4日(月)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
17	10月16日(土)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
18	10月27日(水)	19:30	青年部研修室	福幸祭について
19	11月1日(月)	19:40	青年部研修室	福幸祭について

23

24

25 [2021年度委員会決算書](#)

## (公社) 二本松青年会議所 2021年度福幸祭特別委員会決算書 内訳表

科目名	事業名	公益事業		その他の事業	
		1	小計	1	小計
		『第11回福幸祭～明るい未来』		4月例会『地域の魅力再認識とスキルアップセミナー』	
④事業収益		3,601,750	<b>3,601,750</b>	2,500	<b>2,500</b>
事業繰入収益		1,000	1,000	2,500	2,500
登録料収益		0	0	0	0
懇親会費収益		0	0	0	0
広告料収益		3,455,000	3,455,000	0	0
販売収益		0	0	0	0
預り金収益		0	0	0	0
雑収益		145,750	145,750	0	0
⑤受取補助金等		569,590	<b>569,590</b>	0	<b>0</b>
国庫補助金		0	0	0	0
地方公共団体補助金		400,000	400,000	0	0
県サポート事業補助金		0	0	0	0
OB会補助金		0	0	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金		169,590	169,590	0	0
補助金等交付業務受託金		0	0	0	0
国庫助成金		0	0	0	0
地方公共団体助成金		0	0	0	0
民間助成金		0	0	0	0
⑥受取負担金		0	<b>0</b>	0	<b>0</b>
受取負担金		0	0	0	0
⑦受取寄付金		206,579	<b>206,579</b>	0	<b>0</b>
受取寄付金		206,579	206,579	0	0
受取募金		0	0	0	0
⑧雑収益		0	<b>0</b>	0	<b>0</b>
受取利息収益		0	0	0	0
その他雑収益		0	0	0	0
	経常収益計	4,377,919	4,377,919	2,500	2,500
(2) 経常費用					
①事業費		4,162,646	<b>4,162,646</b>	2,500	<b>2,500</b>
事業費		4,162,646	4,162,646	2,500	2,500
事業費繰入金			0		0
会場設営費		2,149,561	2,149,561	0	0
企画・演出費		1,224,441	1,224,441	0	0
本部団設営費		0	0	0	0
講師関係費		0	0	2,500	2,500
広報費		188,540	188,540	0	0
資料作成費		391,235	391,235	0	0
報告書作成費		0	0	0	0
懇親会費		0	0	0	0
渉外費		64,450	64,450	0	0
旅費交通費		0	0	0	0
参加記念品代		0	0	0	0
保険料		4,000	4,000	0	0
通信費		94,226	94,226	0	0
販売物品仕入		46,193	46,193	0	0
預り金		0	0	0	0
雑費		0	0	0	0
委員会運営費		0	0	0	0
事業予備費		0	0	0	0
収支差額		215,273	215,273	0	0

## 2021年度 ブロック大会準備特別委員会 事業報告

委員長 深谷 勇人

1 2022年度はブロック大会が二本松の地にて開催予定となっています。2020年し  
2 らかわ大会時に立候補し、約1年半が過ぎようとしています。本年は、ブロック大会準備  
3 特別委員会として主に、スローガンやシンボルマーク、PR動画の作成など手掛けてきま  
4 した。そして、何よりも大事なのが二本松大会をどんな形で、どこで開催するか議論を交  
5 わしました。いろいろな場所が選定された中、岳温泉の地にて開催、また、ニコニコ共和  
6 国を一時的に復活させ、岳の魅力や文化、歴史に触れて頂きたいという想いから岳温泉に  
7 決定しました。岳だけじゃなく、二本松の東和地区、岩代地区、安達地区と新市内の魅力  
8 処や旧市内の魅力も一斉に参加者に伝えることで福島ブロック協議会が掲げる理念に近ず  
9 き、そして、地域の発展によりつながると考えます。まだまだ、考えなくてはいけないこ  
10 とが多々ありますが、私も含めてLOM一丸となりブロック大会成功へと導きたいと思  
11 います。

12 最後になりますが、先輩たちの紡いできた歴史を継承し、二本松にほんとうの空と笑顔  
13 を届けていきたいと思えます。

14

15 委員会開催報告

16

回数	月 日	時 間	場 所	内 容
2	1月7日	19:00	事務局	年間スケジュール確認
3	3月2日	19:00	事務局	PR動画作成
4	3月24日	19:00	事務局	PR動画作成
5	4月12日	19:00	事務局	PR動画作成
6	4月19日	19:00	事務局	PR動画作成
7	5月24日	18:00	岳温泉	ブロック大会実行計画
8	6月2日	19:00	事務局	PR動画作成
9	6月7日	19:00	事務局	PR動画作成
10	6月9日	19:00	事務局	PR動画作成
11	6月14日	19:00	事務局	PR動画作成
12	6月18日	19:00	事務局	PR動画作成
13	7月14日	19:00	事務局	スローガン・シンボルマーク 作成
14	8月18日	18:00	岳温泉	ブロック大会実行計画
15	8月23日	19:00	事務局	スローガン・シンボルマーク 作成
16	9月29日	19:00	事務局	11月例会

17	10月27日	19:00	事務局	11月例会
----	--------	-------	-----	-------

17

18 2020年度委員会決算書

二本松青年会議所 2021年度ブロック大会準備特別委員会決算書

科目名	事業名	公益事業	
		1 二本松ブロック大会PR動画作成	小計
④事業収益		0	0
事業繰入収益			0
登録料収益			0
懇親会費収益			0
広告料収益			0
販売収益			0
預り金収益			0
雑収益			0
⑤受取補助金等		0	0
国庫補助金			0
地方公共団体補助金			0
県サポート事業補助金			0
OB会補助金			0
二本松少年隊顕彰会補助金			0
補助金等交付業務受託金			0
国庫助成金			0
地方公共団体助成金			0
民間助成金			0
⑥受取負担金		99,100	0
受取負担金			0
⑦受取寄付金		0	0
受取寄付金			0
受取募金			0
⑧雑収益		0	0
受取利息収益			0
その他雑収益			0
	経常収益計	99,100	0
(2) 経常費用			
①事業費		99,100	99,100
事業費		99,100	99,100
事業費繰入金			0
会場設営費			0
企画・演出費		98,000	98,000
本部団設営費			0
講師関係費			0
広報費			0
資料作成費			0
報告書作成費			0
懇親会費			0
渉外費			0
旅費交通費			0
参加記念品代			0
保険料			0
通信費		1,100	1,100
販売物品仕入			0
預り金			0
雑費			0
委員会運営費			0
事業予備費			0
収支差額		0	△ 99,100

# 公益社団法人日本青年会議所

## 組織グループ J Cプログラム革新委員会

委員 渡邊 聡

1 全国の会員数が3万人を切り、平均在籍年数が4年未満という現状において、短期間で  
2 メンバーにJ C活動・運動の本質を学んでいただくことが可能なJ Cプログラム（セミナ  
3 ー）をJ C I日本は推進しています。本年出向させていただいたJ Cプログラム革新委員  
4 会はまさにJ Cプログラムの推進や、J Cプログラムのトレーナーの育成、新規プログラ  
5 ムの開発、J Cプログラムを用いた事業を担当する委員会でした。私は第3小委員会の小  
6 幹事として出向させていただきました。第3小委員会は事業を担当し、京都会議でセミナ  
7 ーショーケースと横浜でのサマーコンファレンスでセミナーフェスティバルの実施をしま  
8 した。セミナーショーケースは2日間で計11本のセミナーを開催したわけですが、新型  
9 コロナウイルス感染症の蔓延の影響により直近になってリアル開催から完全WEBでの開  
10 催になりました。WEBでの開催ということで、出向メンバーは京都以外の各地で集まり、  
11 ZOOM操作を通じて実施しました。サマコンのセミナーフェスティバルではパシフィコ  
12 横浜でのリアル開催で、新規プログラムであるJ C I - E x p l o r eを含む3つのセミ  
13 ナーを開催しました。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で横浜に来るメンバーが  
14 著しく少なく、今まで経験したことのない閑散としたパシフィコ横浜の会議センターでの  
15 実施となりました。参加者集めの際に全国のLOMに電話での推進をしたことは、各地の  
16 LOMの現状を直接知る機会となり、自分にとっても学ぶことができました。

17 これらの事業の実施の中で、年間を通じて小幹事として第3小委員会の小委員会をZO  
18 OMで開き、副委員長と連携を取り、サポートに努めました。小委員会では仕切りや副委  
19 員長と委員とのコンセンサスを取り副委員長と委員との方向性を一致させることに努めま  
20 した。また、2つの事業の報告書の作成も任せられ、日本の議案を作成にあたり、日本本会  
21 の意見に対応し、いくつもの会議に出席（WEBで）したという経験は、自分のこれまでの  
22 のJ C活動の集大成といえるものでした。議案作成や修正に多大なる時間を取られました  
23 が、自分の書いた議案は幸いにも大きな問題はなく委員長から認められたことは自分の自  
24 信となりました。また、今回の委員会出向と同時並行的に自分自身もトレーナーとしての  
25 修練を積み、「CC」と「ディベート」の2つのヘッドトレーナーの資格を取ることができ  
26 ました。

27 今回の出向によって、多くの大切な出会いがありました。副委員長が二人同じ東北から  
28 出向し、委員長をはじめとする多くの兵庫のメンバー、それ以外の全国各地から出向した  
29 メンバーはいずれも意識が高く、人として見習うことがたくさんあり、皆魅力にあふれた  
30 方々でした。ラストイヤーとして人に機会を与えることも意識しながらやったことで、こ

# 公益社団法人日本青年会議所

## 組織グループ J Cプログラム革新委員会

委員 渡邊 聡

1 全国の会員数が3万人を切り、平均在籍年数が4年未満という現状において、短期間で  
2 メンバーにJ C活動・運動の本質を学んでいただくことが可能なJ Cプログラム（セミナ  
3 ー）をJ C I日本は推進しています。本年出向させていただいたJ Cプログラム革新委員  
4 会はまさにJ Cプログラムの推進や、J Cプログラムのトレーナーの育成、新規プログラ  
5 ムの開発、J Cプログラムを用いた事業を担当する委員会でした。私は第3小委員会の小  
6 幹事として出向させていただきました。第3小委員会は事業を担当し、京都会議でセミナ  
7 ーショーケースと横浜でのサマーコンファレンスでセミナーフェスティバルの実施をしま  
8 した。セミナーショーケースは2日間で計11本のセミナーを開催したわけですが、新型  
9 コロナウイルス感染症の蔓延の影響により直近になってリアル開催から完全WEBでの開  
10 催になりました。WEBでの開催ということで、出向メンバーは京都以外の各地で集まり、  
11 ZOOM操作を通じて実施しました。サマコンのセミナーフェスティバルではパシフィコ  
12 横浜でのリアル開催で、新規プログラムであるJ C I - E x p l o r eを含む3つのセミ  
13 ナーを開催しました。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で横浜に来るメンバーが  
14 著しく少なく、今まで経験したことのない閑散としたパシフィコ横浜の会議センターでの  
15 実施となりました。参加者集めの際に全国のLOMに電話での推進をしたことは、各地の  
16 LOMの現状を直接知る機会となり、自分にとっても学ぶことができました。

17 これらの事業の実施の中で、年間を通じて小幹事として第3小委員会の小委員会をZO  
18 OMで開き、副委員長と連携を取り、サポートに努めました。小委員会では仕切りや副委  
19 員長と委員とのコンセンサスを取り副委員長と委員との方向性を一致させることに努めま  
20 した。また、2つの事業の報告書の作成も任せられ、日本の議案を作成にあたり、日本本会  
21 の意見に対応し、いくつもの会議に出席（WEBで）したという経験は、自分のこれまでの  
22 のJ C活動の集大成といえるものでした。議案作成や修正に多大なる時間を取られました  
23 が、自分の書いた議案は幸いにも大きな問題はなく委員長から認められたことは自分の自  
24 信となりました。また、今回の委員会出向と同時並行的に自分自身もトレーナーとしての  
25 修練を積み、「CC」と「ディベート」の2つのヘッドトレーナーの資格を取ることができ  
26 ました。

27 今回の出向によって、多くの大切な出会いがありました。副委員長が二人同じ東北から  
28 出向し、委員長をはじめとする多くの兵庫のメンバー、それ以外の全国各地から出向した  
29 メンバーはいずれも意識が高く、人として見習うことがたくさんあり、皆魅力にあふれた  
30 方々でした。ラストイヤーとして人に機会を与えることも意識しながらやったことで、こ

- 31 れまでと違った視点を少しは養うこともできたのかなと感じています。今回の出向を許し
- 32 ていただいた岡理事長に感謝し、出向者報告に代えさせていただきます。

# 公益社団法人日本青年会議所

## 組織グループ 組織戦略会議

委員 川村 祐一朗

1 本年度は自身としては初めての日本出向をさせていただきました。組織戦略会議では、  
2 時代に即した組織への改革、若者や女性活躍社会を実現するための組織体制の構築、グ  
3 ループ運動の効果を高める業務の3つの活動概要をもとに活動を行って参りました。  
4 具体的には、退会者が少ないLOMの運動状況を調査し、効果的な組織運営モデルの検  
5 討や、退会者の増加に歯止めをかけるためにポストコロナ、ウィズコロナの新しい時代  
6 に即したリモートワークなどのハイブリッドな活動の推進、家庭や仕事とのバランスを  
7 取りJC活動を行っていくための「育LOM」の推進など育児世代のJCメンバーの為  
8 の組織の構築するための活動を行って参りました。  
9 ハイブリッドな活動という点では、福島開催以外の会議はほとんどZOOMを使用した  
10 WEB会議の形で参加をさせていただきましたが、コロナ禍である現在、このような形  
11 式のコミュニケーションや活動などもこれからの時代において当たり前に行われるよう  
12 になるのだなと切に感じました。距離もコストも時間も省略することが可能な反面、リ  
13 アルならではの空気感を感じきれなかったのは心残りです。  
14 日本へ出向をさせていただき、LOMとはまた違った規模、スケールの事業やスピード  
15 感というものを感じました。生憎、日本各地の会員と繋がりを大きく深めることは叶い  
16 ませんでした。簡単には経験できない貴重な体験をさせて頂いたと感じております。  
17 今後のLOMでの活動にも本年の経験を活かし、より良い活動を行っていければと考  
18 えております。  
19 この度は貴重な機会を頂き、有難う御座いました。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会

監査担当役員 渡邊 聡

- 1 今年度県北エリアに福島ブロック協議会の監査担当役員輩出の割り当てがあり、該当す  
2 るメンバーとして自分が出向させていただく運びとなりました。
- 3 監査担当役員として、財政審査会議、役員会議、会員会議所会議に出席しながらコンプ  
4 ライアンスや会計面のチェックをし、会議の講評をいたしました。ブロック協議会の事業  
5 の議案書のチェックは昨年地区の財政の委員会に出向した経験を活かし、数字や証書類に  
6 関しては、ミスを指摘し、役員会議や会員会議所会議がスムーズに進行する助けに少しは  
7 寄与できたかなと感じています。他の2人の監査担当役員の、事業をさらによくする視点  
8 であつたり、問題が出たときにそれを解決する助けとなるようなアドバイスは自分には不  
9 得手な部分であり、2名の監査から大いに学ぶことができました。その他ブロックの役員  
10 の皆さんから、多くのことを学び、時には悩んでいる役員に励ましやアドバイスをし、自  
11 分なりにこれまで培った経験を微々たるものでしたが活かすことができたのかなと感じて  
12 います。
- 13 監査担当役員講評は毎回話す内容に苦勞しましたが、それもまた学びとなりました。な  
14 によりも監査担当役員という重みのある役割に、自分のようなものがと年間を通して違和  
15 感を感じましたがそれもまた貴重な経験になったと感じます。
- 16 ブロックは毎年出向の機会があり、手を挙げればたいいの場合出向することができま  
17 すので今後はメンバーに出向の良さを伝え、来年ブロック大会を控えるLOMのOBとし  
18 て、今回のブロック協議会への出向の経験を伝えることができればと思います。LOMの  
19 皆さんにたくさんブロックの事業に参加していただきました。今回の出向の機会をいただ  
20 いたことを含め御礼を申し上げ、出向者報告に代えさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区  
福島ブロック協議会 福島の未来創造委員会

委員 武田 良典

- 1 この度は東北地区 福島ブロック協議会 福島の未来創造委員会に出向させて頂き感謝し  
2 ております。
- 3 昨年同様にコロナウイルスに感染された方々が日によって増減し、各々のLOMが心配な中  
4 でしたので、リモートの会議が中心であったのは残念ではありますが致し方がない事であ  
5 るのかと思います。
- 6
- 7 第51回福島ブロック大会 in 相馬に参加出来なかった為、メインの事業であるJCカッ  
8 プ福島大会並びに、仕事の調整が出来ずJCカップ全国大会に参加出来なかった事は非常  
9 に残念であり、申し訳なく思います。
- 10 唯一参加できましたJCカップ東北大会は東北地区協議会の役員のもと、円滑な設営、運  
11 営ができました。
- 12 コロナ禍ではございましたので、保護者の方々がグラウンドには入れない形での開催ではあ  
13 りましたが、各県から集まった子どもたちが大人顔負けにサッカーをし、笑顔で互いに声を  
14 掛け合う姿をみて、改めて事業を行う素晴らしさを感じました。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会 組織連携推進委員会

委員 三津間 勇夫

1 本年は昨年につき福島ブロック協議会に委員として出向させていただきました。今回は  
2 組織連携推進委員会という委員会でSDGsの推進や若者向けの事業や防災関係を担当す  
3 る委員会で、1年間フルで事業がある委員会で、非常に忙しい委員会でした。

4 やはりコロナ禍ということもあり事業に関しては制限される部分がありましたが、Z  
5 OMを活用して委員会を開催したり事業を構築していました。まずは、SDGsの推進で  
6 すが、県内のSDGsを推進している企業・学校などをリサーチし、福島ブロック全メン  
7 バーの投票をもって順位を決めて表彰し、年末の事業報告会で発表し大成功を収めました。  
8 この事業に関してはあまり参加できませんでしたが、景品関係でお手伝いすることができ  
9 ました。次に防災関係の事業はJCカップ、ブロック大会での東日本大震災のパネル展示  
10 をし見ていただいた方に防災について伝播することができました。こちらの事業は終日参  
11 加することができ、日頃ZOOMでの委員会で直接委員会メンバーと会う機会がなかった  
12 ので、直接交流を深めることができたのは良かったです。最後に若者向けの事業では県内  
13 の若手経営者と、就活前の大学生とのZOOMによる企業説明会と、面接のようなものを  
14 組み合わせた事業で、県内での就職も視野に入れてもらえたり、県内の企業のPRにも繋  
15 がり大変素晴らしい事業だったと思いました。

16 昨年から続くコロナ禍の中でこれだけの事業を行えたのは、素晴らしいことでしたし、  
17 自分自身も初めて出向する委員会でとても勉強になりました。今後のJC運動で参考にで  
18 きそうなものも見つかり、しっかりLOMにこの経験を還元して次年度からのJC運動に  
19 活かしてまいりたいと思います。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会 ブロック大会実行委員会

副委員長 深谷 勇人

1 昨年と本年とブロック大会実行委員会に出向し、2020年度はブロック大会の中止、  
2 式典のみをユーチューブでのライブ配信、2021年度はコロナ渦の中ではありましたが  
3 感染対策を万全にしてのリアルでの開催とこの2年間はコロナの影響を大きく受けた中で  
4 のブロック大会出向になりました。この2年間の経験を踏まえて二本松大会に向け邁進し  
5 たいと考えます。二本松大会ではワクチンが普及しコロナが落ち着くと考えられます。ア  
6 フターコロナという意味でも大きな大きな意義のある大会になると確信しております。福  
7 島ブロック協議会が掲げる理念（地域益、参加者益、主管益、主催者益）の中でも202  
8 1年度は地域益を優先に考え事業の構築に励むという事で、地域にきっかけと学び、気づ  
9 きを与えられることで他の益にもつながり、福島の未来に希望のある光を照らしたいと思  
10 います。

11 最後になりますが、私だけの力では何もできません。LOMの力、知恵をお貸しいただ  
12 く事で大会の成功へ導き、二本松青年会議所が地域になくってはならない存在へ改めて市民  
13 や各事業所、行政に感じてもらうことで我々の運動が実を結ぶこととなると思います。

14 頑張りましょう。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会 ブロック大会実行委員会

幹事 橋本 篤

- 1 公益社団法人日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会 ブロック大会実行委員の幹
- 2 事として出向させていただきました。当委員会はブロック大会締結式はじめブロック大会
- 3 開催の担いとし、締結式の実施、ブロック大会開催の実施、主に活動して参りました。志
- 4 を同じく出向した各地域の会員会議所メンバーと、事業を通じて心を通わせ目的に向かい
- 5 意見を出し合い、また額に汗して活動することでかけがえのない友情を育むことができた
- 6 と感じます。ブロック出向はこの愛してやまない福島にこれだけ多くの仲間がいるのだと
- 7 いうことを改めて気付かせてくれる、自分を鼓舞できる貴重な場です。出向の機会をいた
- 8 だきまして大変感謝申し上げます。また来年は二本松の地でブロック大会が開催されます。
- 9 来年ブロック大会実行委員会に出向する方も私のような気付きと喜びに満ち溢れるように、
- 10 支えられるよう行動したいと考えます。1年間ありがとうございました。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会 アカデミー委員会

委員 神野 朗宏

- 1 本年は、ブロック協議会アカデミー委員会に橋本聡矢君とともに、出向をさせていただ  
2 きました。アカデミー委員会では、岩田委員長が掲げる「自ら考え行動し、地域の明日を  
3 切り拓く人材育成」のテーマのもと、様々なプログラムを受けて参りました。開校式での  
4 基調講演・オリエンテーションから、全4回の委員会、西宮青年会議所メンバーとの交流  
5 会、そしてブロック大会での青年フォーラムまで、枠にとらわれない幅広い分野でのセミ  
6 ナーや講演があり、どれもJCという組織ならではのものであり、今後JC運動をするに  
7 あたって見方や考え方が変わるものばかりでした。また、県内19LOMから入会歴の浅  
8 いメンバーが集う委員会ということで、JCだけでなく各々の仕事における知識獲得や  
9 自己研鑽を同じ目線、同じ立場でできる仲間ができたことは、大変貴重な機会でした。
- 10 本年の委員会は新型コロナウイルスの感染拡大により、開催地の変更や委員会の延期が  
11 余儀なくされ、本来であれば県内各地で行えたことも一部できませんでした。それにより  
12 参加が難しくなったメンバーもおりましたが、ブロック大会での青年フォーラムに向けて  
13 各塾での打ち合わせもZ o o m開催するなどして、無事成功を収めることができました。  
14 またブロック協議会の卒業式では、私の所属した安部塾で最優秀塾賞を頂き、今後のJC  
15 人生を進んでいける素晴らしい経験ができたと感じます。
- 16 今回アカデミー委員会に参加して知り得たことは、今後のJC運動を行うにあたっての  
17 大きなヒントになると考えています。どのように地域のために活かしていくか、もちろん  
18 一人ではできません。LOMだけではできないことを今回得た仲間と共に考え、挑戦して  
19 いく福島を切り拓いていきたいと思えます。本年は出向という貴重な機会を頂きありがと  
20 うございました。

# 公益社団法人日本青年会議所 東北地区

## 福島ブロック協議会 アカデミー委員会

委員 橋本 聡矢

1 本年は、福島ブロック協議会のアカデミー委員会に神野朗宏君とともに、出向をさせて  
2 いただきました。アカデミー委員会では、本年度委員長が掲げる「希望の明日を切り拓け」  
3 のテーマのもと、各アカデミー生の個人の成長を促す諸先輩方の基調講演や、JCプログ  
4 ラムを活用した学びなど、様々な気づきを得られることができました。

5 年度初めのアカデミー委員会開校式の際に講師としてお越しいただいた、伝説のスピー  
6 チでも有名な、矢口健一先輩の講演から始まったのが印象的でした。熱く熱く、「JCとは  
7 なにか」、「JCはなぜ必要なのか」というところを、矢口先輩が経験したことを踏まえて  
8 お話をしていただきました。その中で、矢口先輩ご自身がJCに入った最初の理由は孤独  
9 なもので「今だけ、金だけ、自分だけ」であったとおっしゃっていました。自分のことば  
10 かり考えていては何も始まらない。本来のJCとは「新日本の再建は青年の責務である」  
11 のもとに始まり、常に「利他の心」をもって、自分の為ではなく、他社のために、地域の  
12 為に尽くしていくことが大切だと教えて頂きました。その後のアカデミー委員会でも、日  
13 本の前会頭をやり遂げた石田全史先輩に、他ブロックの栃木ブロック協議会の大阿久会長、  
14 西宮JCの吉岡先輩、そして我々が二本松JCの高宮先輩の講演と、今後JC運動を行っ  
15 ていく中で、核となる部分、JCの理念ともいうべき部分に触れることができた大きな1  
16 年間であったと感じております。

17 今回の学びを、あらゆる場面や分野で最大限に活かし、地域発展へと繋げられるよう邁  
18 進してまいります。貴重な機会を頂き、感謝申し上げます。有難う御座いました。

## 2021年度 監事報告

監事 渡邊 聡  
外部監事 安齋 淳  
外部監事 野地 哲也

1 コロナウィルスが流行してから2年目となり新しい生活様式が浸透して来ているものの、  
2 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令され思うように活動できない中どのように事  
3 業を展開していくかが昨年同様苦勞していました。感染予防対策については前年の事業や  
4 他のLOMの事業を参考に行政や日本青年会議所の感染予防対策マニュアルを施すことで  
5 二本松少年隊顕彰授業と第11回福幸祭の対外事業を盛大に開催する事が出来ました。こ  
6 れも現役メンバーが一致団結し開催に向けて知恵を絞り、苦悩を共にしながら準備をした  
7 成果だと感じました。来年以降もこの対応能力があればすべての事業が成功すると確信し  
8 ております。

9 2022年ブロック大会が二本松で行われます。大会に向けて事業の内容も大変重要で  
10 すが、それ以上に大きな事業には人手が必要です。二本松青年会議所は数年前から会員拡  
11 大の伸び悩みが深刻です。全ての現役会員と二本松青年会議所の先輩を巻き込み1人でも  
12 多くの会員拡大を進めてください。

13 至らぬ点が多々あったと思いますがみなさまのおかげで監事職を2年間務めさせていた  
14 だき現役のメンバーと共に活動したことで、たくさんの学びや気付きを得る事ができまし  
15 た。最後に二本松青年会議所が持続可能な地域と二本松の文化を継承し続ける事を願い監  
16 事講評とさせていただきます。本当に2年間ありがとうございました。

2022年度

計 画

## 2022年度 理事長所信

公益社団法人二本松青年会議所  
第49代理事長 新野 成輝

### 【はじめに】

私は二本松が好きだ。

私は二本松で生まれ育った。しかし、祖父は双葉の生まれで、私の父が幼い頃に二本松に越してきたのだという。家はニットを編む機械の音が遅い時間まで聞こえる自営業だったが、私は県外でシステムエンジニアとして社会に出た。それでも毎週のように二本松に戻ってきていた。32歳の頃にいくつもの転機が重なって、大好きな二本松にUターンすることができた。そして36歳でJAYCEEになった。そして今も二本松が大好きだ。

生まれ育った街を好きと思い続けてこられたことは、きっと幸せなのだと思う。そして、そう思える人が増えて欲しいし、二本松はそうなれる街だと信じている。

私は経営者ではないし、リーダー気質でもない。それでも、メンバーと多くのパートナーの協力があれば、自分が好きな二本松のために、より良い二本松を次代に残すために、JCならばきっと出来ることがあるはずだ。地域の輝く個性を調和させて、JCだからこそ出来ることを実現させよう。

### 【ニューノーマル時代における青年会議所運動】

2020年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来、2021年8月には1日に2万5千人以上の感染者が確認されるほど国内でも感染が拡大しました。

度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による経済活動の停滞により、2020年度の実質GDPは前年度比4.6%減となり、リーマン・ショックのあった2008年(同3.6%減)を上回るマイナス成長となりました。しかし、2022年の前半にはワクチン接種率の向上と治療薬の登場により、コロナウイルスと共存する新しい生活様式(ニューノーマル)下で経済が回復すると予想されています。

また、この未曾有の事態に、多くのデマや誹謗中傷が広がったことも忘れてはいけません。私達は、ニューノーマルにおいて正しい情報をもとに判断し、地域を牽引するリーダーとなって青年会議所運動を進めます。

### 【会員拡大】

地方におけるJCの会員候補はほぼ間違いなく他の青年世代の団体からも勧誘を受けている人物でしょう。当然、身体は一つしかありませんし、時間も有限です。その中でJCが選ばれるためにはどうしたらいいのでしょうか。答えが簡単ではないことは全国のLOMが拡大に苦戦していることから明らかですが、JCに対するネガティブなイメージを払拭し、

私達の運動・活動に共感を持ってもらえるように J C の価値をきちんと伝えることが必要なのは間違いないと思うのです。

私にとって J C の最大の価値は、人脈や学びなど数々な機会が提供されることです。そして、別のメンバーにとってはまた違う J C の価値があることでしょう。それらの J C の価値をお互いに共有し、そしてその根底にある理念を再確認し、発信することで、拡大に繋がらさう。

#### 【SDGs の実践的な取り組みの推進】

損保ジャパンの 2021 年 7 月の調査によれば、日本における SDGs の認知度は 76% を超え、SDGs や社会課題を意識した行動を起こしている人の割合は 40% を上回りました。2019 年に日本青年会議所が SDGs を日本で一番推進する団体として行動を始めて以来、私達各地の青年会議所も SDGs の取り組みを進めてきました。また、国連においては 2030 年までの SDGs 達成に向け、取り組みのスピードを速めるため、2020 年 1 月から「行動の 10 年」がスタートしています。

誰ひとり取り残さない持続可能な二本松の実現のため、私達二本松青年会議所も SDGs の実践的な取り組みを推進していきます。

#### 【二本松少年隊の顕彰】

戊辰の戦火において、二本松藩の武士の子らは自らの意志で郷土を守るために命がけの戦いに出陣しました。二本松少年隊の隊士たちは地域のために率先して行動しました。私達 JAYCEE に求められているのも、同じく自ら進んで行動することだと思います。多くの幼い命が失われたという史実を通して、命の大切さと郷土愛を伝えるため、二本松少年隊の顕彰授業を行います。また、私達もこの授業で講師を務めることで、二本松少年隊を顕彰する団体としての意識を深め、率先して行動する姿を子どもたちに示します。

#### 【第 52 回福島ブロック大会 in 二本松の開催】

2022 年 7 月に、ここ二本松の地でブロック大会が開催されます。「ニコニコ共和国」として一世を風靡した岳温泉を開催地として、2021 年から岳温泉観光協会と協議を進めています。県北エリアの 3 J C とは動員だけではない協力体制を築くために副主管の締結を行うなど、福島ブロック協議会を始めとしたブロック大会に関連する各種協力団体との連携を取りながら、岳温泉を中心に市内全体にも波及する大会を構築し、ブロック大会の 4 つの益の根幹である「地域益」を最大化して、持続可能な地域起こしに貢献します。

#### 【J C の事業から場としての福幸祭へ】

2010 年に始まった「少年隊花火大会」と翌 2011 年に発災した東日本大震災からの復興のために始めた「福幸祭」は、二本松青年会議所のメイン事業となりました。先輩達の

計り知れないご尽力の積み重ねによって認知度も高まり、いまや多くの市民から開催を待ち望まれるような存在となり、「福幸祭」に出させてほしいというありがたい言葉をいただくことも増えました。

一方、2020年に更新されたJC宣言は「社会の課題を解決することで持続可能な地域を創ることを誓う」と結んでいます。課題解決という観点で見た時、またメンバーへの負荷を考えたとき、JCが主催し続けることの是非を考えるべきときが来ているのではないのでしょうか。主催の移管やパートナーとの共催化など、考えうる選択肢を排除せず、より良く持続可能な地域を創ることのできる「場」となることを目指して福幸祭を開催します。

#### 【震災を忘れないために】

2021年3月11日、市内の中学生から寄せられたメッセージを乗せて、100個のLEDランタンが夜空に浮かび、そして花火と共演しました。二本松青年会議所にはほんまっつDMOとの共催として実行委員会にメンバーが出向し、この事業を開催しました。

東日本大震災から10年が過ぎ、市内の仮設住宅もすべて撤去され、震災の記憶が徐々に薄れていっています。しかし、持続可能な地域づくりのためにはあの震災を忘れずに、これからの防災・減災に活かし続けなくてはなりません。まずはわたしたちが震災を忘れないために、改めて震災を振り返り学ぶ機会を設け、二本松の防災・減災意識につながる発信を行います。

#### 【二本松青年会議所50周年に向けて】

二本松青年会議所が日本で556番目の青年会議所として、1974年2月24日に認証を受けて以来、来る2023年で丸50年を迎えます。この節目の年にあたってどのような記念事業や式典を行うべきか、メンバー内はもちろんOB諸兄からのご意見もいただきながら、余裕をもった周年事業構築のために準備を進めます。

#### 【結びに】

「やさしく、つよく、おもしろく」「アマチュアの心でプロの仕事を、楽しそうにやる」

これは私の好きな会社の企業理念と、尊敬する科学者の行動原理を表した言葉です。どちらも「おもしろく」「楽しそうに」という、ともすると仕事や研究とは遠く感じる言葉が使われていますが、私にはこの言葉がスッと入ってきました。脳科学的には人は行動を起こすから「やる気」が出てくるし、笑顔を作ると「楽しく」なるそうです。

JCにおいては、役は望んで得ることは少なく、与えられるものかもしれません。しかし、その役を受ける決断をしたのは間違いなく自分なのです。

責任ある青年世代として、地域の未来のために、まずは「わたし」から動き出しましょう。

<p>現状分析</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、ステイホームや時短営業を余儀なくされ、経済や日常生活に対し、深刻な影響を与えています。青年会議所においても入会者確保に支障をきたす要因となり、より一層力をいれて会員拡大に取り組む必要があります。</p> <p>また、SDGsが一般化されてきた社会になり、二本松市での認知度も少しずつですが、着実に増えてきています。これからは認知から実践へと歩みを進めていく必要があるため、他団体や異業種との交流を深めていく必要があります。</p> <p>2022年度も昨年同様、新たな生活様式と共に進んでいく1年となります。大好きな、ふるさとである二本松を支え発展させていくため、我々自身が自発的に行動し、明るく元気な街を作っていくことが重要であると考えます。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①二本松の歴史あるものや新たな魅力を見つけ、それらの広報活動することで、新たな価値を創出し、新たな取り組みとして町おこしの足掛かりとするため。</p> <p>②東日本大震災当時の記憶を忘れないよう、また当時の想いを次世代に繋いでいけるようにするため。</p> <p>③SDGsの実践的な取り組みの推進</p> <p>④-1例会を実施し、会員間の絆を深め、良好な関係を構築するため。</p> <p>④-2例会を実施し、会員の政治や市政への関心を持ってもらうため。</p> <p>⑤新入会員に青年会議所の活動や理念を理解してもらうため。</p> <p>⑥会員数を増やし、会員の負担軽減や事業の拡大に繋げるため。</p>
<p>概要</p>	<p>①二本松の新たな価値の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続事業として、新たな目的を持った二本松の価値を作り上げます。</li> </ul> <p>②東日本大震災を忘れないための事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災で被災した地の悲惨さを知り、震災を風化させないような学びの場を提供します。</li> </ul> <p>③SDGsの実践的な取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの認知度や実践企業は年々上昇してきているが、まだSDGsを知らない市民や企業が大多数いるのが現状です。より多くの方にSDGsへの理解を深めてもらい、実践してもらうために推進活動を行います。</li> </ul> <p>④-1例会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年は、ブロック大会があり、初年度当初の例会で会員間で団結を深めることで、大会を成功に繋げます。</li> </ul> <p>④-2例会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政への関心を持ち、二本松の現状を知ることで、持続可能な街づくりを考えるための礎とします。</li> </ul> <p>⑤新入会員セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数が減少している昨今、新入会員には即戦力として活躍してもらうことが求められます。そのため、まずは新入会員がJCに慣れてもらうための場を設け、積極的</li> </ul>

	に活動に参加してもらえるような環境を作ります。
	⑥会員拡大
	・ 会員の負担軽減、予算の確保、よりよい事業を展開できるようにするため、また二本松青年会議所を持続可能なものにするために、会員拡大を行います。
SDGs	【 4、8、12、16、17 】
事業手法	①二本松の新たな価値の創出
	・ 他団体と協力し、密な連絡体制を構築することで連携強化を図ります。また、事前段取りや準備を綿密に行うことで成功へと導きます。
	②東日本大震災を忘れないための事業の開催
	・ 東日本大震災・原子力発電所伝承館へと足を運び中の観覧をします。その後、被災地へ行き、復興の進捗を確認に行きます。
	③SDGsの実践的な取り組みの推進
	・ SDGsの取り組みについて各企業の事例等を紹介し、どのような取り組みをしているのかを学んでもらい、企業や職種ごとに取り組みやすいSDGsの分析をすることで、SDGs推奨企業を増やします。
	④-1例会の実施
	・ 体育館を借りて、団体競技スポーツにて汗を流し、交流を深めます。
	④-2例会の実施
	・ 講師の方をお招きし、二本松の市政や現状について語っていただきます。それを踏まえたうえで、持続可能な街の為に必要なことを考えていただきます。
	⑤新入会員セミナー
	・ 新入会員や新入会員候補に対し、二本松青年会議所の理念や活動を理解してもらい、J Cに溶け込めるよう学びの場を設ける等、新入会員のフォローアップを行います。
	⑥会員拡大
	・ 勧誘のための訪問や、会員拡大セミナーなどを行う際は、必要に応じて、委員会で協力し、継続事業としての認知活動を行います。サポートを行い、情報共有し、連携することで、会員拡大を進めます。
パートナー	二本松市産業部、二本松商工会議所、あだたら商工会、福島ブロック協議会 にほんまつDMO

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 価値デザイン推進委員会予算書 内訳表  
2022年1月1日より2022年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業		その他の事業	
	1	小計	1	小計
	二本松の新たな価値を創造する事業		2月例会レクリエーション例会	
④事業収益	150,000	150,000	5,000	5,000
事業繰入収益	70,000	70,000	5,000	5,000
登録料収益	0	0	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0
広告料収益	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0
預り金収益	0	0	0	0
雑収益	80,000	80,000	0	0
⑤受取補助金等	0	0	0	0
国庫補助金	0	0	0	0
地方公共団体補助金	0	0	0	0
県サポート事業補助金	0	0	0	0
OB会補助金	0	0	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金	0	0	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0	0	0
国庫助成金	0	0	0	0
地方公共団体助成金	0	0	0	0
民間助成金	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
受取募金	0	0	0	0
⑧雑収益	0	0	0	0
受取利息収益	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0
経常収益計	150,000	150,000	5,000	5,000
(2) 経常費用				
①事業費	150,000	150,000	5,000	5,000
事業費	142,500	142,500	4,750	4,750
事業費繰入金	0	0	0	0
会場設営費	70,000	70,000	0	0
企画・演出費	70,000	70,000	2,000	2,000
本部団設営費	0	0	0	0
講師関係費	0	0	0	0
広報費	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0
報告書作成費	0	0	0	0
懇親会費	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0
参加記念品代	0	0	0	0
保険料	0	0	2,200	2,200
通信費	2,500	2,500	550	550
販売物品仕入	0	0	0	0
預り金	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
委員会運営費	0	0	0	0
事業予備費	7,500	7,500	250	250
収支差額	0	0	0	0

<p>現状分析</p>	<p>アフターコロナとなる予定の2022年において、日々新しくなる生活に対応するため、インターネットやSNSなどから得る情報は正しく使わなければなりません。青少年に関しては、SNSを通じた事件に青少年が巻き込まれたり、誹謗中傷や風評被害などによる自殺者数やサイバー犯罪は昨年までも増加しています。青少年が命の大切さを学び、健やかな明るい未来を歩むために、私たち大人が手本となって、正しく導いていくための術を学ぶことが必要だと考えます。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①二本松少年隊の顕彰を通じ、青少年に故郷と命の大切さについて考えてもらう。 ②情報社会の中で正しく情報を使うため、メディアリテラシーを向上させる。 ③会員の知識向上並びに活動意欲を促進させる。 ④家族との思い出を作るとともに、青年会議所の運動・活動への理解を深めてもらう。</p>
<p>概要</p>	<p>①二本松少年隊顕彰事業の実施 5月から6月にかけて、二本松市内の小学校16校の高学年を対象に少年隊の顕彰事業を行い、青少年に二本松という故郷と命の大切さについて考えてもらいます。 ②メディアリテラシーの向上 例会を実施し、情報社会の中で青少年が間違った情報を発信しないように正しい情報を使いこなすために、SNSやインターネットにある情報の使い方を学びます。 ③例会の実施 会員の資質向上並びに意識向上を図るため例会を実施し、自ら行動を起こし他と協力し合えるJC会員を目指します。 ④家族例会の実施 JC活動を支えてくれる家族に対して日頃の感謝を伝え、思い出を作るとともに、今後の活動への理解と支援をお願いするための機会を設けます。</p>
<p>SDGs</p>	<p>【3, 4, 10, 15, 16, 17】</p>
<p>事業手法</p>	<p>①二本松少年隊顕彰事業の実施 二本松青年会議所会員が二本松少年隊顕彰授業を行います。授業は2部構成で、前半は二本松少年隊顕彰授業を行い、後半は命の大切さとふるさとについて考えてもらい、青少年に二本松への郷土愛を培ってもらいます。 ②メディアリテラシーの向上 構成を分け、第一部ではメディアの影響力について、事例を用いて情報の伝わり方を感じてもらいます。第二部では参加者同士で青少年のメディア利用について意見を出しあい、携帯電話などを利用する青少年たちに教える術を学んでもらいます。 ③例会の実施 委員会での連絡を密にとり、早期から参加者を募ることで質の高い例会を目指します。 ④家族例会の実施 ニューノーマルな生活様式に沿って、二本松市の魅力を再発見できるアクティビティを計画し、会員とその家族同士が交流し仲を深められる場を作ります。</p>
<p>パートナー</p>	<p>二本松市教育委員会、二本松少年隊顕彰会、にほんまつDMO</p>

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 青少年育成委員会予算書 内訳表  
2022年1月1日より2022年12月31日まで

科目名	事業名	公益事業			その他の事業		
		1	2	小計	1	2	小計
		二本松少年 隊顕彰授業 事業	10月例会 メディアリテラ シー		4月例会	8月家族例会	
④事業収益		1,000	58,000	59,000	5,884	15,000	20,884
事業繰入収益		1,000	58,000	59,000	5,884	15,000	20,884
登録料収益		0	0	0	0	0	0
懇親会費収益		0	0	0	0	0	0
広告料収益		0	0	0	0	0	0
販売収益		0	0	0	0	0	0
預り金収益		0	0	0	0	0	0
雑収益		0	0	0	0	0	0
⑤受取補助金等		92,000	0	92,000	0	0	0
国庫補助金		0	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金		0	0	0	0	0	0
県サポート事業補助金		0	0	0	0	0	0
OB会補助金		0	0	0	0	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金		92,000	0	92,000	0	0	0
補助金等交付業務受託金		0	0	0	0	0	0
国庫助成金		0	0	0	0	0	0
地方公共団体助成金		0	0	0	0	0	0
民間助成金		0	0	0	0	0	0
⑥受取負担金		0	0	0	0	0	0
受取負担金		0	0	0	0	0	0
⑦受取寄付金		0	0	0	0	0	0
受取寄付金		0	0	0	0	0	0
受取募金		0	0	0	0	0	0
⑧雑収益		0	0	0	0	0	0
受取利息収益		0	0	0	0	0	0
その他雑収益		0	0	0	0	0	0
経常収益計		93,000	58,000	151,000	5,884	15,000	20,884
(2) 経常費用							
①事業費		93,000	58,000	151,000	5,884	15,000	20,884
事業費		92,000	56,800	148,800	5,884	15,000	20,884
事業費繰入金				0			0
会場設営費		0	3,300	3,300	3,300	0	3,300
企画・演出費		70,000	0	70,000	0	15,000	15,000
本部団設営費		0	0	0	0	0	0
講師関係費		0	2,500	2,500	2,500	0	2,500
広報費		0	50,000	50,000	0	0	0
資料作成費		20,000	0	20,000	0	0	0
報告書作成費		0	0	0	0	0	0
懇親会費		0	0	0	0	0	0
渉外費		0	0	0	0	0	0
旅費交通費		0	0	0	0	0	0
参加記念品代		0	0	0	0	0	0
保険料		0	0	0	0	0	0
通信費		2,000	1,000	3,000	84	0	84
販売物品仕入		0	0	0	0	0	0
預り金		0	0	0	0	0	0
雑費		0	0	0	0	0	0
委員会運営費		0	0	0	0	0	0
事業予備費		1,000	1,200	2,200	0	0	0
収支差額		0	0	0	0	0	0

公益社団法人二本松青年会議所 総務広報委員会 事業計画	
専務理事 國分 崇観千	
委員長 橋本 聡矢	
現状分析	2020年より続く新型コロナウイルス感染症の蔓延や、近年の気候変動、さらに震災より10年が経過した中での福島県沖地震などの影響で市民の間には不安が広がっています。そのような状況の中でも、我々は市民の為に運動を続けていかなければなりません。そのため今まで以上にLOMの円滑な運営をしっかりとサポートすることが必要になります。
目指すべき目的	<p>① 2021年度の事業報告を受けて2022年度の新事業計画を共有し、会員が同じ志を持ち特別会員にも目的共有を図ることができ、二本松青年会議所が一致団結してJC運動をしていくための時間とします。</p> <p>② 会員に気づきと学びを提供し、個の力を伸ばし、組織発展へと繋げていく。</p> <p>③ 会員と特別会員の親睦を深める時間を提供し、今後の更なる連携を図る。</p> <p>④ 2022年度の方針、組織体制、各委員会事業計画を常に確認することができ、各自がそれを持つことによって、青年会議所会員としての意識向上を図る。</p> <p>⑤ 誰もが喜ぶブロック大会を開催できるようにすること。</p> <p>⑥ JC運動・JC活動を正しく発信し、地域住民との信頼関係を築く。</p> <p>⑦ SDGsの具体的な取り組みの推進</p> <p>⑧ 事務局・財政局が円滑に事業等を行えるようサポートする。</p> <p>⑨ JCに対する数々の栄光を築いてきた卒業者へ感謝を伝え、築いてきたものをしっかりと継承し、後世に伝えていくこと。</p> <p>⑩ JC運動・JC活動を正しく発信し、それを理解し、同じ志をもてる会員を増やしていき、二本松青年会議所の発展を地域発展へと繋げていく。</p>
概要	<p>①総会の実施 1月総会では2021年度の事業報告と2022年度の新事業計画を共有し、9月総会では次年度の体制を報告する。</p> <p>②例会の実施 会員が新しい気づきと学びを得ることができ、個の成長へ繋がる例会を実施する。</p> <p>③新年会の開催 会員と特別会員の交流する機会をつくり、多様な情報を共有する場を提供する。</p> <p>④会員名簿の作成 2022年度の方針、組織体制、各委員会事業計画、会員情報等を掲載し、また会員・特別会員の情報を共有する物とする。</p> <p>⑤ブロック大会の準備・開催に関する事務実務 ブロック大会の成功を収めるための運営をサポートする。</p> <p>⑥ホームページ・SNS等の活用による広報活動 二本松青年会議所の活動内容を発信し、地域住民の方に正しく理解をしてもらう。</p> <p>⑦SDGsの実践的な取り組みの推進 SDGsとは何かを知り、それに対して何ができるかを考え、行動してもらう。</p> <p>⑧事務局・財政局のサポート 事務局・財政局の役割を理解し、それに応えられるようサポートをする。</p> <p>⑨卒業式の開催 卒業者へ感謝の気持ちを伝え、最後に楽しい思い出という花道で送ります。</p> <p>⑩会員拡大 現役会員がまず青年会議所の役割を理解し、その想いに賛同できる会員を増やす。</p>
SDGs	【 4、8、10、16、17 】

事業手法	①総会の実施
	事前の打ち合わせ・準備段取りを綿密に行い、多くの会員に参加を呼びかけ、当日は円滑に議事進行をする。
	②例会の実施
	委員会で事業内容を精査し、多くの会員に参加を呼びかけ、質のある例会を行う。
	③新年会の開催
	会員はもちろんのこと、特別会員の多くの方々にもご参加いただけるよう、早めの準備段取りを行い、周知を徹底して参加を促す。
	④会員名簿の作成
	名簿の情報を確認し、会員にはデータで配布、特別会員にはA 5サイズの物を作成し配布する。
	⑤ブロック大会の準備・開催に関する事務実務
	ブロック大会の準備・開催に関する事務実務を適時適切に行う。
⑥ホームページ・SNS等の活用による広報活動	
ホームページ・SNSを積極的に運用し、二本松青年会議所の活動を認知してもらい、若年層にも広く届くように工夫をして活動を行う。	
⑦SDGsの実践的な取り組みの推進	
自分で何ができるかをまず知り、それをどう実践していくか手助けをしていく。	
⑧事務局・財政局のサポート	
事務局・財政局との連絡を密にし、その都度なにが必要かを把握し、援助する。	
⑨卒業式の開催	
事前の打ち合わせ・準備段取りを綿密に行い、多くの会員に参加を呼びかけ、当日は円滑に式進行をし、なによりも卒業者が喜んでもらえる式にする。	
⑩会員拡大	
青年会議所とは何かを学び、どんなものが得られ、どんなメリットがあるのかを会員が認識をしたうえで、新入会員の呼びかけを行い、拡大に繋げる。	
パートナー	二本松青年会議所OB会
	福島ブロック協議会

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 総務広報委員会予算書 内訳表  
2022年1月1日より2022年12月31日まで

事業名 科目名	1	2	3	小計
	会員名簿作成	6月例会	12月例会	
④事業収益	23,000	4,700	45,000	72,700
事業繰入収益	23,000	4,700	45,000	72,700
登録料収益	0	0	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0
広告料収益	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0
預り金収益	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0
⑤受取補助金等	30,000	0	0	30,000
国庫補助金	0	0	0	0
地方公共団体補助金	0	0	0	0
県サポート事業補助金	0	0	0	0
OB会補助金	30,000	0	0	30,000
二本松少年隊顕彰会補助金	0	0	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0	0	0
国庫助成金	0	0	0	0
地方公共団体助成金	0	0	0	0
民間助成金	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
受取募金	0	0	0	0
⑧雑収益	0	0	0	0
受取利息収益	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0
經常収益計	53,000	4,700	45,000	102,700
(2) 經常費用				
①事業費	53,000	4,700	45,000	102,700
事業費	53,000	4,700	45,000	102,700
事業費繰入金				0
会場設営費	0	0	27,000	27,000
企画・演出費	0	1,650	16,500	18,150
本部団設営費	0	0	0	0
講師関係費	0	2,500	0	2,500
広報費	0	0	0	0
資料作成費	53,000	0	0	53,000
報告書作成費	0	0	0	0
懇親会費	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0
参加記念品代	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
通信費	0	550	1,500	2,050
販売物品仕入	0	0	0	0
預り金	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
委員会運営費	0	0	0	0
事業予備費	0	0	0	0
収支差額	0	0	0	0

<p>現状分析</p>	<p>二本松青年会議所で対外的な発信が大きくできる福幸祭は、二本松少年隊を顕彰する団体としての活動を、地域の人たちに伝える機会となります。そして、二本松少年隊を風化させることなく、郷土愛や命の大切さを考える事業は継続して行う必要があります。12回目を迎える福幸祭もただの継続事業としてではなく、必要に応じて変化させていく必要があると考えます。年々会員数が減少していくなかで福幸祭を運営していくためには一人ひとりの負担を軽減させることは急務となります。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①地域の伝統、魅力を発信し、安定した地域活性の一助とするため。                  ②各団体と協力し福幸祭を運営、実行委員会による福幸祭の推進を行う。                  ③二本松少年隊の悲劇を史実として顕彰し、郷土愛、命の大切さ、家族愛などを市民に伝えていくため。                  ④二本松少年隊隊士の慰霊と鎮魂を込めるとともに、市民が二本松少年隊の想いに触れる機会を作るため。                  ⑤J C運動を行っていくために必要な知識として予算について学ぶ。                  ⑥福幸祭でSDGsを実践的に取り入れた事業を行い来場者の理解に繋げるため。                  ⑦対外的に二本松青年会議所のJ C運動を広く認知させるため。</p>
<p>概要</p>	<p>①福幸祭の開催                  福幸祭を開催し、多くの市民へ福幸祭の認知、J C運動への理解を図ります。                  ステージイベントや、終盤では花火の打ち上げを行います。                  ②福幸祭のあり方の見直しと実行委員会による福幸祭の推進                  福幸祭の地域での役割を見直し、関係各所と連携を行い、福幸祭の推進を図ります。                  ③二本松少年隊の顕彰                  福幸祭のファンクションで二本松少年隊の顕彰を行い、地域の歴史として継承し、郷土愛や命の大切さを考える機会としていただく。                  ④二本松少年隊墓所清掃の実施                  二本松少年隊を顕彰する団体として市内の各地墓所を清掃し、二本松少年隊へ慰霊と哀悼の意を表します。                  ⑤例会の実施                  3月例会ではJ C運動に必要な知識として予算について詳しい講師をお招きし、学ぶ例会を実施します。                  ⑥SDGsの実践的な取り組みの推進                  SDGsの理解を促すため福幸祭の各所で実践的な取り組みの推進を図ります。                  ⑦会員拡大                  二本松少年隊の顕彰を行う団体として墓所清掃や福幸祭を開催しJ C運動・活動の理解を図ります。</p>
<p>SDGs</p>	<p>【4、7、8、11、15、17】</p>
	<p>①福幸祭の開催</p>

	2022年参加計画総数5000人
	新型コロナウイルスのワクチン接種や感染状況の推移を鑑みて21年より多くの来場が見込めるため、会場を大きく有効的に使用できるよう計画を行います。
	②福幸祭のあり方の見直しと実行委員会による福幸祭の推進 関係各所への挨拶、打ち合わせを早々から行い、認識の相違が無いようにします。 他団体とパートナーシップを組み、それぞれが培ってきた英知、技術、取り組みを福幸祭で掛け合わせることで、更なる地域活性へと繋げてまいります。
	③二本松少年隊の顕彰 福幸祭のステージ発表で二本松少年隊の顕彰を行っている団体の公演をしていただきます。
事業手法	④二本松少年隊墓所清掃の実施 2022年度は例会として墓所清掃を実施致します。墓所清掃では市内の少年隊士の墓所、関係各所の清掃を行います。墓前で二本松少年隊のエピソードを話してもらい、二本松少年隊への追悼と敬意を表します。
	⑤例会の実施 3月例会では議案書作成などに必要な知識として予算について学ぶ例会を実施します。予算関係に詳しい講師をお招きして有益な情報を学びます。
	⑥SDGsの実践的な取り組みの推進 福幸祭の出店ブースでは食品ロスやプラスチックごみの削減を推進します。また、お仕事体験ブースでは各企業が行っているSDGsへの取り組みを紹介していただきます。
	⑦会員拡大 直接青年会議所運動を実感していただくため、福幸祭へ、新入会員候補者をボランティアスタッフとして誘い、会員拡大へ繋げます。
パートナー	二本松市役所、二本松市内各種団体
	にほんまつDMO、四季花火
	市内各企業

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 福幸祭特別委員会予算書 内訳表  
2022年1月1日より2022年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業			その他の事業	
	1	2	小計	1	小計
	7月例会 墓所清掃	福幸祭		3月例会	
④事業収益	1,000	3,351,000	3,352,000	5,000	5,000
事業繰入収益	1,000	1,000	2,000	5,000	5,000
登録料収益	0	0	0	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0	0
広告料収益	0	3,200,000	3,200,000	0	0
販売収益	0	0	0	0	0
預り金収益	0	0	0	0	0
雑収益	0	150,000	150,000	0	0
⑤受取補助金等	13,000	573,000	586,000	0	0
国庫補助金	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金	0	400,000	400,000	0	0
県サポート事業補助金	0	0	0	0	0
OB会補助金	0	40,000	40,000	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金	13,000	133,000	146,000	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0	0	0	0
国庫助成金	0	0	0	0	0
地方公共団体助成金	0	0	0	0	0
民間助成金	0	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	200,000	200,000	0	0
受取寄付金	0	200,000	200,000	0	0
受取募金	0	0	0	0	0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益	0	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0	0
經常収益計	14,000	4,124,000	4,138,000	5,000	5,000
(2) 經常費用					
①事業費	14,000	4,124,000	4,138,000	5,000	5,000
事業費	13,550	3,989,000	4,002,550	4,800	4,800
事業費繰入金			0		0
会場設営費	0	1,800,000	1,800,000	0	0
企画・演出費	13,000	1,374,000	1,387,000	0	0
本部団設営費	0	0	0	0	0
講師関係費	0	0	0	3,700	3,700
広報費	0	200,000	200,000	0	0
資料作成費	0	450,000	450,000	0	0
報告書作成費	0	0	0	0	0
懇親会費	0	0	0	0	0
渉外費	0	60,000	60,000	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
参加記念品代	0	0	0	0	0
保険料	0	5,000	5,000	0	0
通信費	550	50,000	50,550	1,100	1,100
販売物品仕入	0	0	0	0	0
預り金	0	0	0	0	0
雑費	0	50,000	50,000	0	0
委員会運営費	0	0	0	0	0
事業予備費	450	135,000	135,450	200	200
収支差額	0	0	0	0	0

<p>現状分析</p>	<p>二本松市は豊かな実り、地域に愛される伝統行事、人が集える観光地のある魅力的な地域です。しかし、その魅力と価値の存在に気付かない若者が増え、発信力が低い状況でもあります。また、人口減少にも歯止めが利かず、2040年には約42,000人という推定で、地域経済の活力低下も見込まれるのに比例し会員も減少しております。近年の新型コロナウイルスの発生により伝える場の創出に懸念が走る現状です。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①大会の方向性や込められた意味を多くの人に理解して頂き、開催日までに広められるようにするため。                  ②福島ブロック協議会との連携をスムーズにし、情報共有を円滑に行うため。                  ③当日多くの方に参加してもらえるよう魅力を伝えられるPR内容の構築をするため。                  ④4つの益を理解し、地域益を引き出せるよう魅力を伝えるため。                  ⑤持続可能な取り組みを伝播し実践していくため。                  ⑥メンバーが50周年に向けて足並みを揃えるため。                  ⑦50周年の年に最高のスタートが切れるように準備を進めるため。                  ⑧50周年に向けて会員の拡大を進めるため。</p>
<p>概要</p>	<p>①シンボルマークの作成                  シンボルマークと大会の関係性を広めていくことが必要です。                  ②ブロック大会に関する福島ブロック協議会との連携                  ブロック大会の成功には福島ブロック協議会との連携が必要だと考えます。                  また、県北4JCでの連携と協力が必要です。                  ③ブロック大会のPR                  県内18LOMのメンバーと市内、市内外の一般の参加者に向けて運動を発信していくために、効果的なPRが必要と考えます。                  ④4つの益（主催益・主管益・地域益・参加者益）を実現する事業の実施                  ブロック会長が掲げる4つの益をメンバーが理解・共有し、ブロック大会を通じて実践していかなければならないと考えます。                  ⑤SDGsの実践的な取り組みの推進                  SDGsはすでに実践的な取り組みをしていかななくてはならない状態で、二本松からSDGsの実践的な取り組みの発信をしていかななくてはなりません。                  ⑥例会の実施                  2023年度は当青年会議所50年の節目の年となり、本年度にメンバーの足並みを揃えていく必要があると考えます。                  ⑦二本松青年会議所50周年に向けた準備                  50周年を円滑に進めて行くために、本年度から準備を進めて行かなければならないと考えます。                  ⑧会員拡大</p>

	50周年を迎える年にはこのままでは20名を切ってしまう。この運動を次の世代に繋げていくために会員拡大は必須だと考えます。
SDGs	【1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17】
事業手法	①シンボルマークの作成 PRの際に、シンボルマークを積極的に打ち出していきます。また、バッジや横断幕といった用途で使用できるものを作成します。
	②ブロック大会に関する福島ブロック協議会との連携 大会をよりスムーズに運営する為に、拡大委員会など開催して情報共有を密に行い対応をしていきます。
	③ブロック大会のPR 多くの会員・市民・各種団体に対して参加して頂けるようSNSやチラシの配布を通し広く広報活動を行っていきます。また、18LOMに対してブロック協議会と共にPRキャラバンとして広報していきます。
	④4つの益（主催益・主管益・地域益・参加者益）を実現する事業の実施 ブロック大会の開催地を岳温泉とし、「ニコニコ共和国」を20年ぶりに復活させ岳温泉から4つの益を実現させる事業を実施します。 また、ブロック大会を通じて18LOMメンバー、市民など多くの方に参加していただくことで4つの益が高まり、新しい福島の創造へ向けてまいります。
	⑤SDGsの実践的な取り組みの推進 ブロック大会を二本松の岳温泉で開催し「ニコニコ共和国」を軸に事業を展開しブース出展や温泉街ならではのSDGsの取り組みを岳温泉観光協会の協力を得ながら参加者や県内18LOMのメンバーにSDGsを伝播していきます。 また、ブース出展は岳地区だけではなく安達地区、岩代地区、東和地区や県北地区からも募り、県北地区と二本松全体を巻き込んで事業を構築していきます。
	⑥例会の実施 50周年に向けてシンボルマーク、記念誌、記念事業について準備を進め、例会を通じて情報の共有をします。また、周年を経験していないメンバーに向けて過去の周年や記念事業を振り返り、次年度へ向けてメンバー間の足並みを揃えます。
	⑦二本松青年会議所50周年に向けた準備 45周年記念の改善点等を洗い出し、より運営が円滑に進められるよう計画を練ります。また、シンボルマーク、記念事業、記念誌の準備を委員会メンバーだけでなく拡大委員会など開催して準備を進めます。
	⑧会員拡大 ブロック大会で得られるであろう繋がりから会員拡大に繋げていきます。
	福島ブロック協議会 県北3JC
	二本松市 にほんまつDMO 二本松青年会議所OB会 岳温泉観光協会
	二本松市観光連盟 二本松市社会福祉協議会 二本松市振興公社

公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 ブロック大会特別委員会予算書 内訳表  
2022年1月1日より2022年12月31日まで

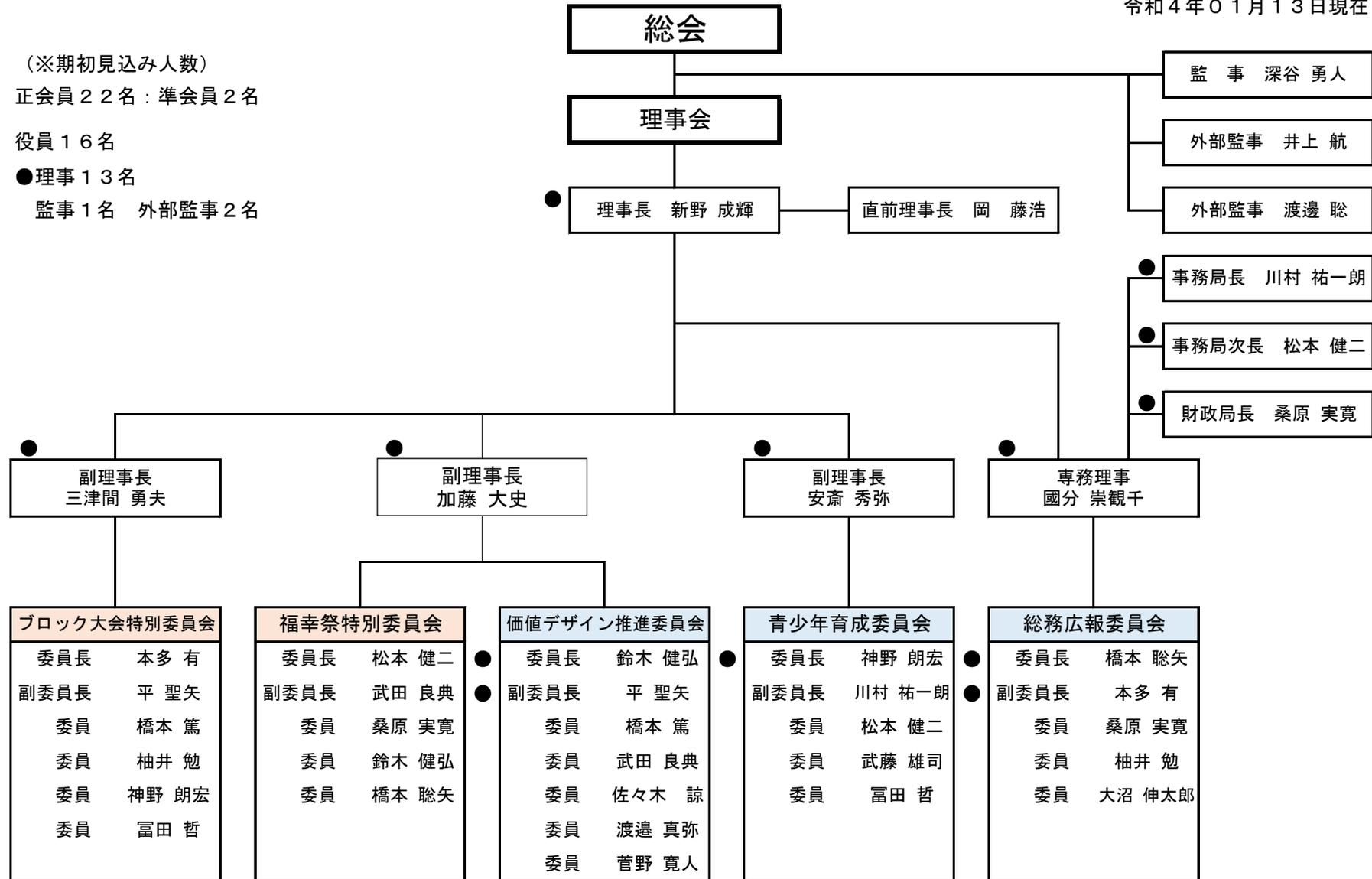
事業名 科目名	公益事業		その他の事業	
	1	小計	1	小計
	ニコニコ共 和国事業 (仮)		主管・副主 管締結式	
④事業収益	1,670,000	1,670,000	10,000	10,000
事業繰入収益	0	0	10,000	10,000
登録料収益	1,670,000	1,670,000	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0
広告料収益	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0
預り金収益	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0
⑤受取補助金等	130,000	130,000	0	0
国庫補助金	0	0	0	0
地方公共団体補助金	0	0	0	0
県サポート事業補助金	0	0	0	0
OB会補助金	130,000	130,000	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金	0	0	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0	0	0
国庫助成金	0	0	0	0
地方公共団体助成金	0	0	0	0
民間助成金	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
受取募金	0	0	0	0
⑧雑収益	0	0	0	0
受取利息収益	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0
経常収益計	1,800,000	1,800,000	10,000	10,000
(2) 経常費用				
①事業費	1,800,000	1,800,000	10,000	10,000
事業費	1,750,000	1,750,000	9,550	9,550
事業費繰入金		0		0
会場設営費	700,000	700,000	0	0
企画・演出費	700,000	700,000	3,300	3,300
本部団設営費	0	0	0	0
講師関係費	0	0	0	0
広報費	150,000	150,000	0	0
資料作成費	150,000	150,000	6,250	6,250
報告書作成費	0	0	0	0
懇親会費	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0
参加記念品代	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
通信費	50,000	50,000	0	0
販売物品仕入	0	0	0	0
預り金	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
委員会運営費	0	0	0	0
事業予備費	50,000	50,000	450	450
収支差額	0	0	0	0



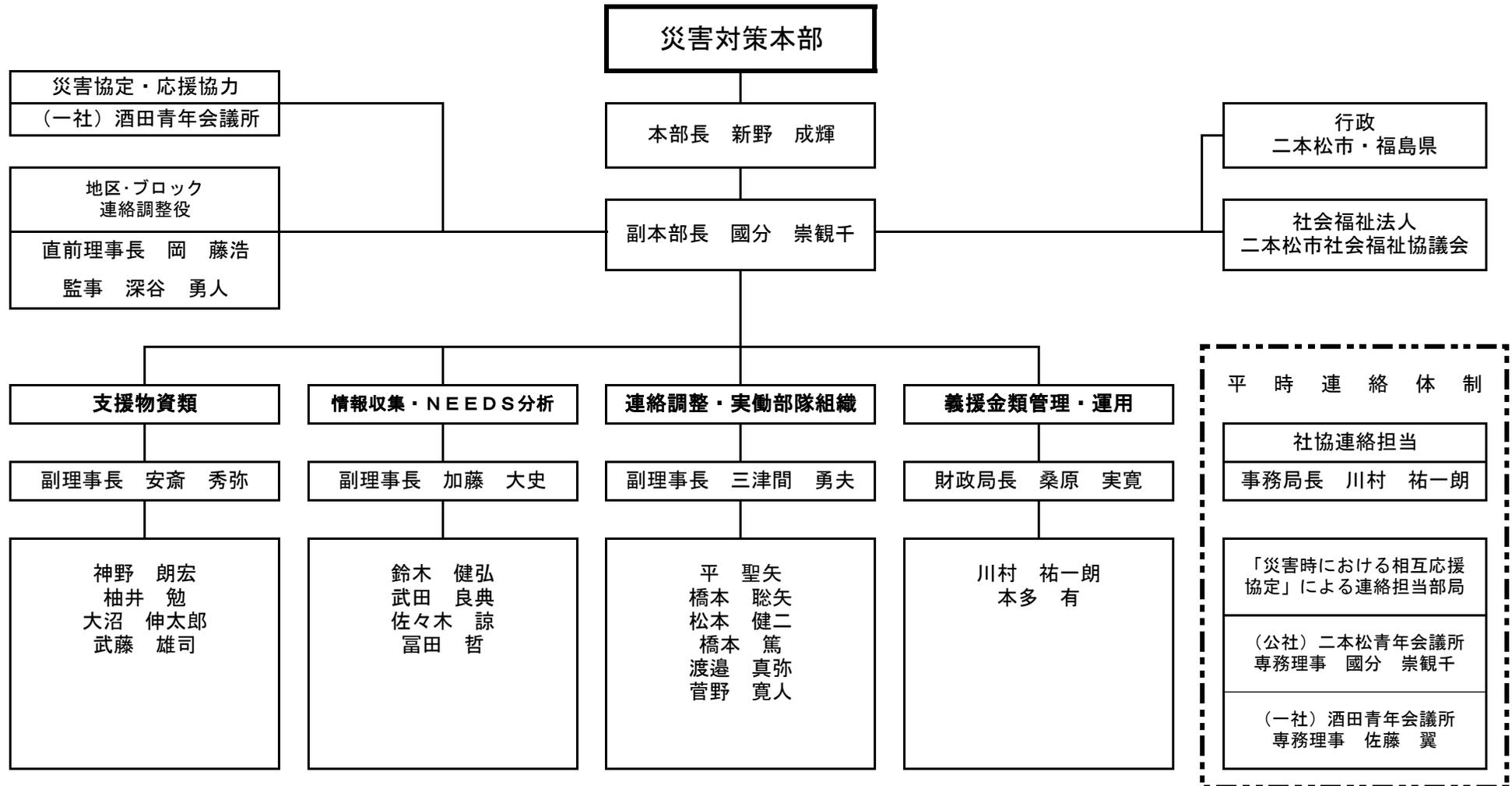
# 公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 組織図 (案)

令和4年01月13日現在

(※期初見込み人数)  
 正会員22名：準会員2名  
 役員16名  
 ●理事13名  
 監事1名 外部監事2名



公益社団法人二本松青年会議所 2022年度 災害発生臨時組織図 (案)



※企業会員については年度途中での変更があった場合は新任者が引き継ぐものとする。

(公社) 二本松青年会議所 2022年度出向者一覧

(2021.11現在)

(公社) 日本青年会議所	
経済グループ 質的価値社会委員会	
小 幹 事	安 斎 秀 弥

(公社) 日本青年会議所 東北地区協議会	
—	
—	—

(公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会	
組 織 連 携 推 進 委 員 会	
委 員	松 本 健 二
ア カ デ ミ ー 委 員 会	
副 委 員 長	川 村 祐 一 朗
幹 事	橋 本 聡 矢
委 員	柚 井 勉
ふ く し ま の 未 来 創 造 委 員 会	
委 員	神 野 朗 宏
ブ ロ ッ ク 大 会 実 行 委 員 会	
委 員 長	深 谷 勇 人
総 括 幹 事	橋 本 篤
委 員	桑 原 実 寛

地域の団体担当者一覧 (案)

(2021.11現在)

にほんまつ地球市民の会			
理事長	新野 成輝	副理事長	三津間 勇夫
副理事長	加藤 大史	副理事長	安斎 秀弥
専務理事	國分 崇観千		

歴代理事長及びスローガン

年度	代数	理事長名	スローガン
1974	第1代	鈴木弘治	未来へあゆむ我等の友情と郷土愛
1975	第2代	岡 誠	未来をにやう青年の力！ おこそう 行動
1976	第3代	穴戸貫六	二本松市を見直そう
1977	第4代	佐々木道昇	今ふれあう我等の心 築こう明日の二本松
1978	第5代	佐藤興司	深めよう心のふれあい 活かそう5年の歳月を！
1979	第6代	國岡碩之	起こそう我等の行動 築こう明日の二本松！
1980	第7代	神野宗介	築こう二本松の礎 高めよう自治意識 広めよう安達の輪
1981	第8代	安達健寿	創ろう 新しい時代 育てよう 安達の輪 今こそ生かそう 若い力
1982	第9代	高橋利一	広げよう友情の輪 団結しよう若い力 成功させよう ブロック大会
1983	第10代	大河内守夫	思い起こそう創始の心 生かそう10周年 明日のために
1984	第11代	山岡正人	広げよう地域の輪 深めよう 心のふれあい
1985	第12代	岡 国 英	集めよう まちづくりの心 築こう 人づくりへの道
1986	第13代	今江孝一	起て J A Y C E E 育てよう 人まち ころ
1987	第14代	石澤 孝	熱き思いを 今、外に向かって
1988	第15代	古山幸広	築こう 21世紀 新たなる二本松の礎
1989	第16代	野地一司	育てよう 青年の樹 求めよう 新しき明日への理想
1990	第17代	松坂壽夫	築こう指導力 今、そのとき
1991	第18代	瀬戸睦男	見える 聞こえる 身近な J C みんなで創ろう 素敵なまち
1992	第19代	岡 村 晋	見つけよう自分のスタンス 発揮しよう J C マンシップ！
1993	第20代	渡辺守康	ほんとうの空に 元気な J C みんなで創ろう 新時代
1994	第21代	安斎文彦	俺達がこのまちを作る ガキ大将
1995	第22代	佐藤壮一郎	広げよう 地球市民のころ 伝えよう 少年隊の魂
1996	第23代	北風和生	広げよう 心と言葉のネットワーク
1997	第24代	安斎雅由	「見たい・聴きたい・行ってみたい」 全員参加の好奇心
1998	第25代	國井文郎	集え！ほんとうの空へ『人の数だけ夢は大きい』
1999	第26代	杉島洪徳	今こそ見つめなおそう 知恵と勇気と行動力
2000	第27代	橋本信一	新しい時代へ、多くの友と、地域創造。
2001	第28代	安斎彰広	今こそ行動のとき 新世紀への魁とならん
2002	第29代	菅野幸雄	ベストタイミング 今しかできないことをやろ～
2003	第30代	渡 辺 忍	未来創造・夢がかたちになる瞬間
2004	第31代	安 斎 亘	夢と希望を実現しよう～地域から頼られる J C を目指して～
2005	第32代	浅井健吾	原点に還れ！ 現在と未来の架け橋になるために
2006	第33代	高宮光敏	創造！新生二本松～共に進もう！時代の立役者となるために～
2007	第34代	神野登士学	L O V E ! N i h o n m a t s u ～描け！明日の夢あふれる未来～
2008	第35代	前田英俊	ほんとうの空へ、輝け二本松～二本松の魂（ころ）、誇りを胸に～
2009	第36代	穂積元彦	世界・日本・二本松 みんなの笑顔のために
2010	第37代	斎 藤 徹	ライジングサン！太陽のように輝く地域を創造しよう
2011	第38代	渡 邊 勝	まず一歩！地域の未来のために
2012	第39代	東澤計昌	守るべき故郷、受け継ぐべき郷土愛、志高く今、立ち上ろう豊かな未来のために！
2013	第40代	安 齋 淳	40年の歴史を紡ぎ、未来へ繋ごう輝く二本松！
2014	第41代	渡邊智彦	私たちが行動することで生まれる智慧が新たな二本松を創造する光となる
2015	第42代	野地幸司	ライトニング！夢と希望と魅力溢れる青年の活動をもって地域を照らす光となれ！
2016	第43代	神野聰文	次代に繋ぐために
2017	第44代	高野知典	剛毅果断 未来のために自己意識を変革せよ！
2018	第45代	二瓶明子	強く、優しく。～夢限大の未来へ～
2019	第46代	渡辺聡	出発 ～地域貢献と自己研鑽のかなたへ～
2020	第47代	佐藤健太	進取果敢 ～未来に繋ぐために～
2021	第48代	岡藤浩	継承 ～持続可能な未来へ～